CATEYE STEALTH 50

CYCLOCOMPUTER CC-GL50

取扱説明書

ご使用の前に必ず本書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。

※ この PDF には、YouTube へのリンクが含まれています。「ビデオを見る」ボタンをクリックするとセキュリティに関するメッセージが表示されますので、「許可」ボタンをクリックしてください。
ブラウザが起動してムービーが再生されます。

※ このマニュアルは、PC（Windows ／ Mac）の操作および用語などの基本的な知識があることを前提に説明しています。

066601240 1

本器の特徴

計測方法

本器には GPS と加速度センサーが内蔵されており、GPS 信号のみで計測を行えるほか、ANT+ 通信規格に対応したセンサーの信号を受信することで、スピード・ケイデンス・心拍数・パワーの最大 4 つのデータを計測することができる多機能サイクロコンピュータです。

※ 本製品に ANT+ センサーは含まれておりません。ご利用の目的に応じて、オプションまたは市販の ANT+ センサーをご購入ください。

走行ルートを記録・確認する

計測中は計測データと共に GPS からの位置情報を記録します。
計測データは、PC の専用アプリ「CATEYE Sync™」に取込んで、専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、あなたの軌跡や高度などの走行記録をトリップとしてサイト上のマップで確認することができます。
「CATEYE Atlas™」では、本器やカメラ付きトリップレコーダーキャットアイ INOU で計測したトリップを蓄積することができ、サイクリングライフのデータベースとして活用いただけます。

正しくご使用いただくために

⚠ 警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- ブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

計測時の注意

計測前と計測後は **MODE** ボタンを長押しして、リセット操作を行ってください。本器はリセット操作により新たな計測がスタートするので、リセットを忘れると長期間のトリップとなります。また使用しない時は電源は切ってください。

ANT+ センサー（オプションまたは市販品）

本器は、以下の４つの ANT+ センサーからの信号を受信し、計測・表示することができます。

- スピードセンサー
- スピード／ケイデンス（ISC）センサー
- ケイデンスセンサー
- 心拍センサー
- パワーセンサー

※ 各センサーは最大２台までペアリングすることができます。

※ 弊社ではオプション部品として、スピード／ケイデンスセンサー（ISC-11）、心拍センサー（HR-11）をご購入頂けます。

※ 対応センサーについてはホームページでご確認ください。

ANT+ スピードセンサーと GPS による計測方法

速度計測は、ANT+ スピードセンサーをお持ちでない場合でも GPS 信号により速度を算出することができます。ANT+ センサーのスピード信号を感知した場合は、スピード信号を優先した計測を行います。
ANT+ スピードセンサーと GPS 信号による計測の違いは以下の通りです。

	GPS 信号による計測	ANT+ スピードセンサーによる計測
計測中	走行時の場所や環境により、GPS 信号が受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。	走行時の場所や環境による GPS 信号が届きにくい場所でも正確な計測が可能です。
計測結果	計測結果は実際の値とは若干異なる場合があります。	車輪の回転数に基づいた計測のため、信頼性の高い計測値を得ることができます。

※ GPS については「GPS について」（3 ページ）をご覧ください。

ANT+ について

ANT+ とは、周波数 2.4GHz を用いた低消費電力のデジタル通信規格です。
これにより計測において外部ノイズや混信の影響を受けにくく、従来に比べ信頼性の高いデータを記録・保存することができます。
次のような場所や環境では干渉を受け、正しい計測が行えない場合があります。

※ 特にペアリング（センサー ID 照合）中にはご注意ください。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや、自動車、鉄道車両内
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地等
- 他のコードレス機器や一部のライトと併用してご利用の場合
- Wi-Fi 環境下

センサー ID の自動認識について

ANT+ センサーは ID を持っており、コンピュータはこの ID を照合して計測を行います。コンピュータには、1 種類のセンサーにつき 2 つのセンサー ID を登録することができます。事前にペアリングすることで走行時に自動でセンサーが識別されます。また、スピードセンサー・スピード／ケイデンス（ISC）センサーの ID にはタイヤ周長を設定するため、手動によるタイヤ周長切替は必要ありません。

※ 認識中のスピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーは画面上のスピードセンサーアイコン（ 1 、 2 ）で表示します。

自動認識の流れ
コンピュータは以下の流れでセンサー ID の自動認識が行なわれます。

❶ コンピュータの電源投入時の GPS サーチ画面やスタンバイ画面から計測画面に切替るタイミングで、各センサー（スピード・スピード／ケイデンス・ケイデンス・心拍・パワー）の信号をサーチします。

> ⚠注意 **このときセンサー信号を発信していないセンサーは認識できません。各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。**

センサーの種類	方法
スピードセンサー	マグネットをセンサーゾーンに数回近づける（間隔 3 mm 以内）
スピード／ケイデンス（ISC）センサー ※ CATEYE 製スピード / ケイデンスセンサー（ISC-11）の場合は［ISC］を選択してペアリングを行います。	
ケイデンスセンサー	
心拍センサー	心拍センサーを装着する
パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

❷ 各センサーのペアリング済み ID から最も強い信号のセンサーを受信します。画面には、受信したセンサーに応じたセンサー信号アイコンが表示され、計測を開始します。各センサーの表示内容は以下の通りです。

センサーの種類	画面表示
スピードセンサー	S
スピード／ケイデンス（ISC）センサー	S・C が同時点滅
ケイデンスセンサー	C
心拍センサー	H
パワーセンサー	P

※ スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーのスピード信号が受信できない場合、コンピュータは GPS 信号で計測を行います。この場合、スピード信号を感知した時点でスピードセンサーによる計測に切替ります。

※ ケイデンス信号・心拍信号・パワー信号が受信できない場合、それらの計測値は表示されません。

GPS について

GPS（Global Positioning System）は、衛星から送られる高精度な位置情報などを受信して、地球上の現在位置を調べるためのシステムです。

GPS 信号の受信について

- コンピュータの電源をオンにしてから GPS 信号を取得するまでに数分かかる場合があります。
- GPS 信号サーチ中は、GPS 信号を受信するまで移動せず、とどまることをお勧めします。GPS 信号サーチ中に移動すると GPS 信号を受信するまでに更に時間がかかる場合があります。
- GPS 信号は、上空が開け、衛星に対して見通しがきく状態が受信しやすくなります。

GPS 信号が受信できない場所について

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。

- トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- 悪天候（雪や雨など）
- 高圧電線や携帯電話の中継局の近く
- コンピュータの画面が上空を向いていない

※ GPS 信号で速度を算出する場合は、計測結果は実際の値とは若干異なる場合があります。

バッテリーについて

リチウムイオン充電池の能力を十分に発揮させるために下記の点をお守りください。

初めて使用するときや長期間使用しなかったとき

バッテリーは長期間放置しておくと自己放電により電圧が低下します。
ご使用の前に充電を行ってください。

充電時の注意

- 充電は炎天下の車内や直射日光下を避け、周辺温度が 5 ～ 40 ℃の範囲で行ってください。
- 充電完了後は必ず USB プラグを抜いてください。
- USB プラグにゴミなどの異物が付着していないことを確認してから充電を行ってください。
- コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
  接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。
- 充電中は振動を与えないでください。
- 接続した PC がスリープ状態では充電できません。

使用時の注意

- 高温状態での充電・放電・保管は充電池の劣化を早めます。車の中や暖房機の近くには置かないでください。
- 正しく充電を行っても使用時間に著しい低下が見られる場合は、バッテリーの劣化による寿命です。詳しくは「バッテリーの交換について」、「コンピュータの廃棄方法」（38 ページ）をご覧ください。

保管の際の注意

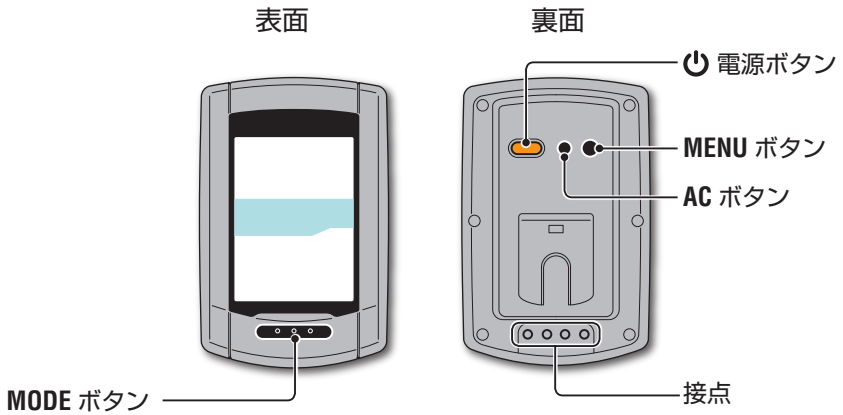
満充電での保管は避けてください。長期間使用しない場合は、ほぼ使い切った状態で高温多湿を避けて保管してください。なお、半年に 1 回 10 分程度充電してください。

廃棄の際の注意

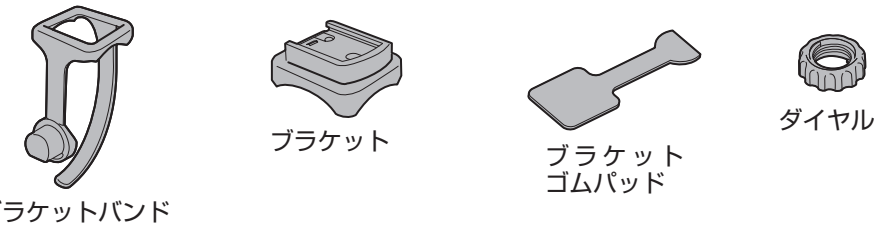
コンピュータを廃棄する際は、内部の充電池を取出してから処分してください。
バッテリーの交換･廃棄方法については、「コンピュータの廃棄方法」（38 ページ）をご覧ください。

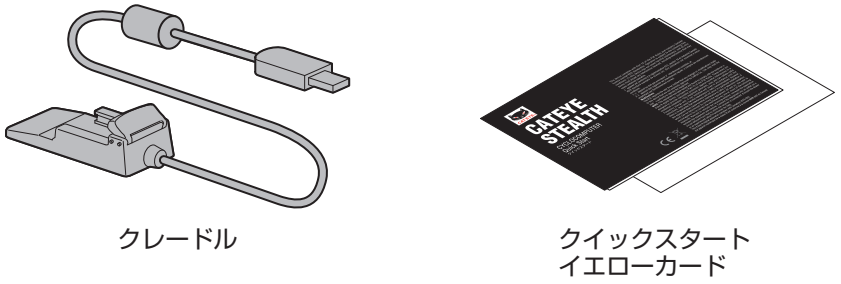
各部の名称と付属品

コンピュータ



付属品

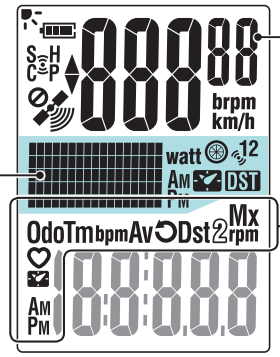




クレードル

クイックスタート
イエローカード

画面表示について



走行速度
0.0（3.0）～ 105.9 km/h
[0.0（2.0）～ 65.9 m/h]

ドット表示部
時刻を表示します。ただしパワー信号の受信時はパワー（ワット数）を表示します。

選択データアイコン
下段に表示されるデータを表します。

アイコン	説明
	バッテリーアイコン バッテリー残量の目安を 5 段階で表します。 ※ 充電方法については「充電方法・電源オン／オフ」（7 ページ）をご覧ください。
	（点灯） バッテリー残量が多い ｜ バッテリー残量が少ない
	（点滅） バッテリー残量がありません。このときコンピュータは自動的に電源オフになります。速やかに充電してください。
	センサー信号アイコン ANT+ センサーの信号を受信した時に点滅します。
	S（点滅）*1 スピード信号を受信中
	C（点滅）*1 ケイデンス信号を受信中
	H（点滅） 心拍信号を受信中
	P（点滅） パワー信号を受信中
	*1：スピード／ケイデンス（ISC）センサーの場合は、**S**・**C** が同時点滅します。

アイコン	説明
	ペースアロー 走行速度が平均速度より速い（▲）か遅い（▼）かを表します。
	GPS 信号受信アイコン GPS の受信状態の目安を表します。
	（点灯） GPS 信号が強い ｜ GPS 信号が弱い
	GPS 信号非受信アイコン GPS 信号を受信できないときは点滅します。 この状態では計測できません。 ※ この状態が 10 分間継続すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）
km/h m/h	**計測単位** 計測中は点滅します。
1 2	**スピードセンサーアイコン** 受信中のスピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーを表します。
watt	**パワー単位**
	タイヤ周長アイコン タイヤ周長入力時に点灯します。
	時刻アイコン 時刻表示中に点灯します。
DST	**サマータイムアイコン**（Daylight saving time） ※ サマータイムの設定については「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。

自転車への取付方法

ビデオを見る
（YouTube）

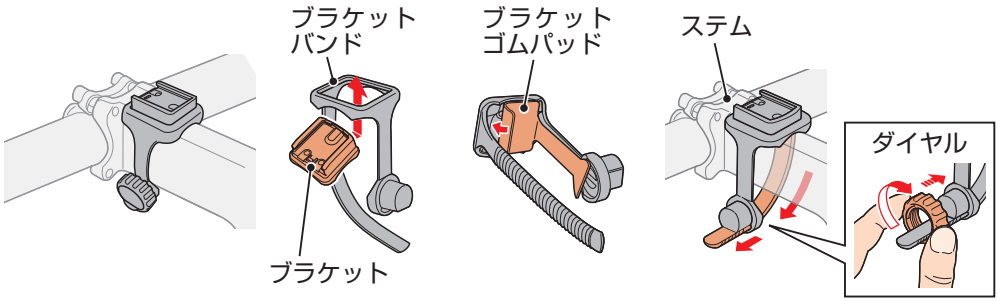
ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付ます

ブラケットはブラケットバンドへの組付けで、ステム・ハンドルバーどちらにも取付けることができます。

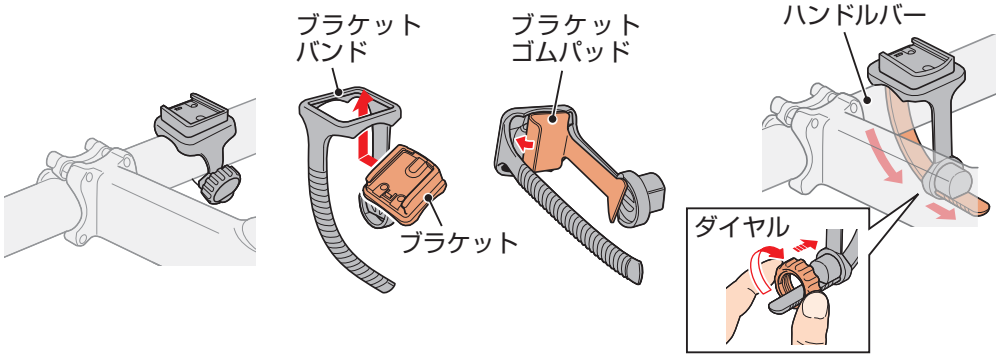
⚠注意 ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。
工具などで強く締めると ネジ山がつぶれる恐れがあります。

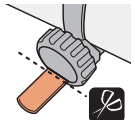
ステムに取付る場合



ハンドルバーに取付る場合

※ GPS 信号を受信しやすくするためにコンピュータの画面が上空を向くように ブラケットの向きを調節してください。



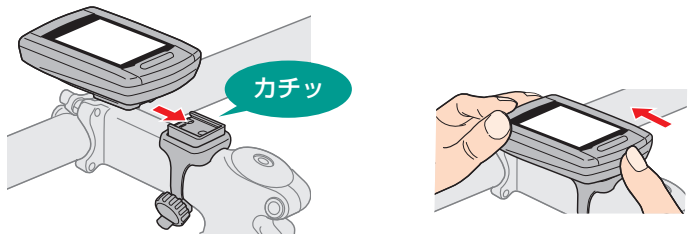


余分なバンドをはさみで切落します。

⚠注意 ブラケットバンドは切口でケガをしないように処理してください。

※ エアロ形状のハンドルバーや、より太いステムに装着する場合は、オプションのナイロンタイブラケットをご利用ください。

コンピュータの着脱



⚠注意 取外す際は、コンピュータが落下しないよう手を添えながら押出してください。

ANT+ センサーをお持ちの場合

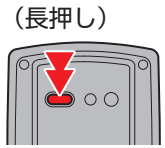
各センサーの取扱説明書に従い、センサーを取付けてください。

※ オプションのスピード／ケイデンスセンサー（ISC-11）の取付方法については、「スピード／ケイデンスセンサー（ISC-11）の取付方法」（39 ページ）をご覧ください。

※ オプションの心拍センサー（HR-11）の装着方法については、「心拍センサー（HR-11）の装着方法」（40 ページ）をご覧ください。

電源のオン / オフ・充電方法

電源のオン／オフ



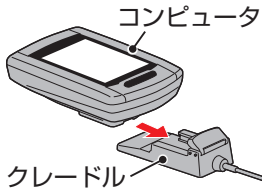
コンピュータ裏面の ⏻ ボタンを 2 秒間長押しします。

※ はじめて電源をオンにした場合は、セットアップを行います。詳しくは「コンピュータのセットアップ」（本ページ右）をご覧ください。

※ バッテリー残量が少ない場合は、以下の方法で充電してください。

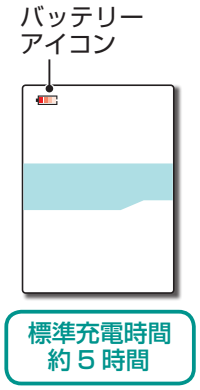
充電方法

1 コンピュータをクレードルにセットします



⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。

2 USB プラグを PC または市販の USB 充電器に差込みます



充電が始まると画面は（バッテリーアイコン）表示のみになります。

アイコン	説明
（アニメーション）	充電中
（点灯）	充電完了

標準充電時間 約 5 時間

※ コンピュータと PC を接続する場合、PC がスリープ状態では充電できません。

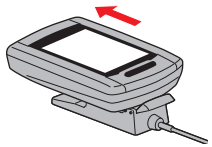
※ USB1.0 の場合、充電に時間がかかります。

※ 充電開始後、約 90 分で 80%程度の充電が完了します。

※ 標準充電時間は目安であり、使用時の環境により変化する場合があります。

※ 満充電で約 10 時間使用できます。

3 充電完了後、コンピュータを取外します



PC または USB 充電器から USB プラグを抜取り、クレードルからコンピュータを取外します。

※ 取出す際は、クレードル本体を持ちながらコンピュータに手を添えて押出してください。

コンピュータのセットアップ

はじめて使用するときや工場出荷時に戻す場合は、以下の手順でフォーマット操作を行います。

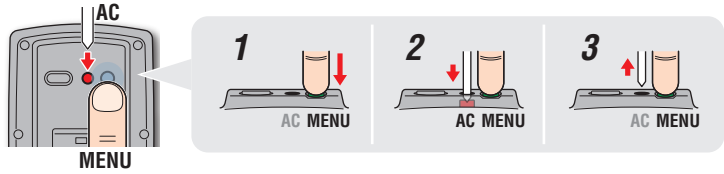
⚠注意 すべてのデータが消去され、工場出荷状態に戻ります。

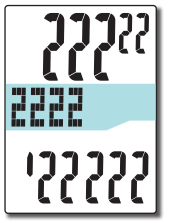
※ セットアップ中、入力を誤ったり、センサーとのペアリング（*1）に失敗しても、そのままセットアップを完了させてください。設定完了後に専用アプリ「CATEYE Sync™」やコンピュータのメニュー画面から修正することができます。詳しくは「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。

*1: ペアリングはコンピュータのメニュー画面でのみ行えます。詳しくは、メニュー画面「ペアリング」（32 ページ）をご覧ください。

1 フォーマット（初期化）します

コンピュータ裏面の **MENU** ボタンを押しながら **AC** ボタンを押します。画面にテストパターンが表示されたら **MENU** を離します。





テストパターン

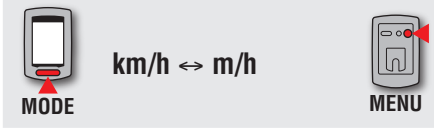
※ 画面にテストパターンが表示されず、全点灯した場合はフォーマット操作が正しく行われていません。再度、フォーマット操作を行ってください。

ビデオを見る（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

2 計測単位を選択します

「**km/h**」または「**m/h**」を選択してください。



3 ペアリング（センサー ID 照合）

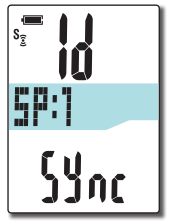
ANT+ センサーをお持ちでない場合：
ペアリングは不要です。**MENU** を 5 回押して、手順 5「タイムゾーンを選択します」（11 ページ）に進んでください。

ANT+ センサーをお持ちの場合：
コンピュータが各センサーを認識するには、各センサーのセンサー ID を登録（ペアリング）する必要があります。
以下の手順に従いコンピュータとお持ちの ANT+ センサーをペアリングしてください。

本器のペアリングには以下の 2 つの方法があります。

照合方法	説明
自動照合	センサーが発信する信号をコンピュータが受信してペアリングを完了させます。 ※ 一般的にはこの方法でペアリングを実施してください。
ID 番号の手入力	センサーの ID 番号がわかっている場合は、その番号を入力してペアリングすることができます。 ※ レース会場など複数の ANT+ センサーが存在して、自動照合ができない場合などにご利用いただけます。

❶ **画面にペアリングするセンサーを表示します**
MENU を押すごとにペアリングさせるセンサーが切替ります。
お持ちのセンサーを表示してください。



SP:1（スピードセンサー）
↓
ISC:1（スピード／ケイデンスセンサー）
↓
CD:1（ケイデンスセンサー）
↓
HR:1（心拍センサー）
↓
PW:1（パワーセンサー）

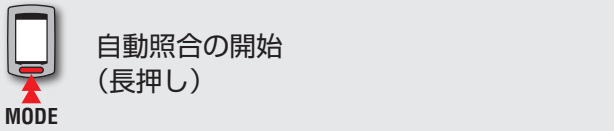
※ セットアップでは図の順でセンサーのペアリングを行います。万一、ペアリングに失敗またはスキップしても、そのままセットアップを完了させてください。設定は後から変更することができます。詳しくはメニュー画面「ペアリング」（32 ページ）をご覧ください。

※ 初期設定では「**SP:1**」または「**ISC:1**」のどちらか一方がペアリングできます。
- 「**SP:1**」（スピードセンサー）をペアリングすると、「**ISC:1**」（スピード／ケイデンスセンサー）の表示はスキップされます。
- 「**ISC:1**」（スピード／ケイデンスセンサー）をペアリングすると、「**CD:1**」（ケイデンスセンサー）の表示はスキップされます。

❷ ペアリングを開始します

自動照合の場合

MODE を長押しすると画面下段の表示が切替り、自動照合を開始します。



※ 近くに他の ANT+ センサーがある場合は、照合するセンサーの信号を発信させてから **MODE** を長押ししてください。目的のセンサーとペアリングしやすくなります。

自動照合画面の間にセンサー信号を発信させてください。画面に ID 番号が表示されます。

※ ID 番号はセンサー固有の番号ですのでひかえておくと便利です。

※ 各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。

センサーの種類		方法
SP	スピードセンサー	マグネットをセンサーゾーンに数回近づける（間隔 3 mm 以内）
ISC	スピード／ケイデンスセンサー ※ CATEYE 製スピード / ケイデンスセンサー（ISC-11）の場合は [**ISC**] を選択してペアリングを行います。	
CD	ケイデンスセンサー	
HR	心拍センサー	心拍センサーを装着する
PW	パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

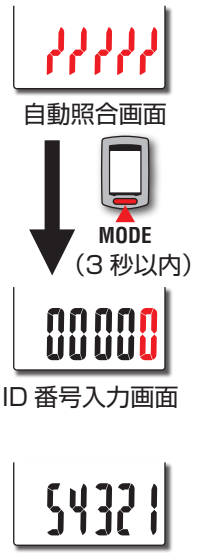
※ コンピュータは、自動照合開始後、5 分間待受状態になります。この間にセンサーの信号を発信させてください。

※ センサー信号の待受中に **MODE** を長押しすると自動照合をキャンセルできます。なお、待受時間内にセンサー信号を受信できない場合は強制的にキャンセルとなります。

ID 番号の手入力の場合

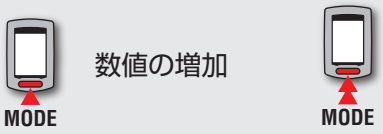
MODE を長押しして自動照合を開始した後、3 秒以内に **MODE** を押します。
ID 手入力画面に切替ります。

※ 3 秒以上経過すると自動照合に移行しますのでご注意ください。



MODE で数値を入力して、長押しで桁移動します。

設定範囲：00001 – 65535



引続き、手順 ❸ に進んでください。

❸ ID 番号を確認して MENU を押します
センサーのペアリングが確定されます。

確定
（裏面）

❹ 同じ手順で、他のセンサーのペアリングを行います

4 タイヤ周長を入力します

ANT +スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーのペアリングをスキップした場合
「タイヤ周長入力」の設定はスキップされます。

手順 5「タイムゾーンを選択します」（11 ページ）に進んでください。

ANT +スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーのペアリングを行った場合
以下の手順に従いセンサー装着側のタイヤ周長（タイヤの外周長さ）を mm 単位で入力します。

MODE で数値を入力して、長押しで桁移動します。

設定範囲：0100 - 3999 mm

数値の増加

桁移動
（長押し）

確定
（裏面）

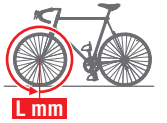
※ タイヤ周長の求め方については「タイヤ周長について」（本ページ右）をご覧ください。

タイヤ周長について

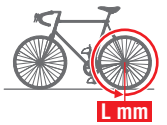
タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める
タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。

※ センサーを装着する側のタイヤを測ります。



または



タイヤ周長ガイド

※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

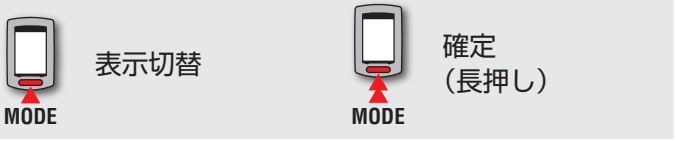
ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4(369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965

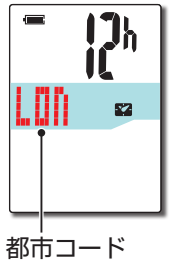
ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
25-520	24x1(520)	1753
	24x3/4 Tubuler	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1(559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubuler 26x7/8	1920
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1(571)	1952
40-590	650x38A	2125

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1(630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	**700x23C**	**2096**
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubuler	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
60-622	29x2.3	2326

5 タイムゾーンを選択します

下表「タイムゾーン一覧」を参考に現在地から最も近い都市コードを選択してください。

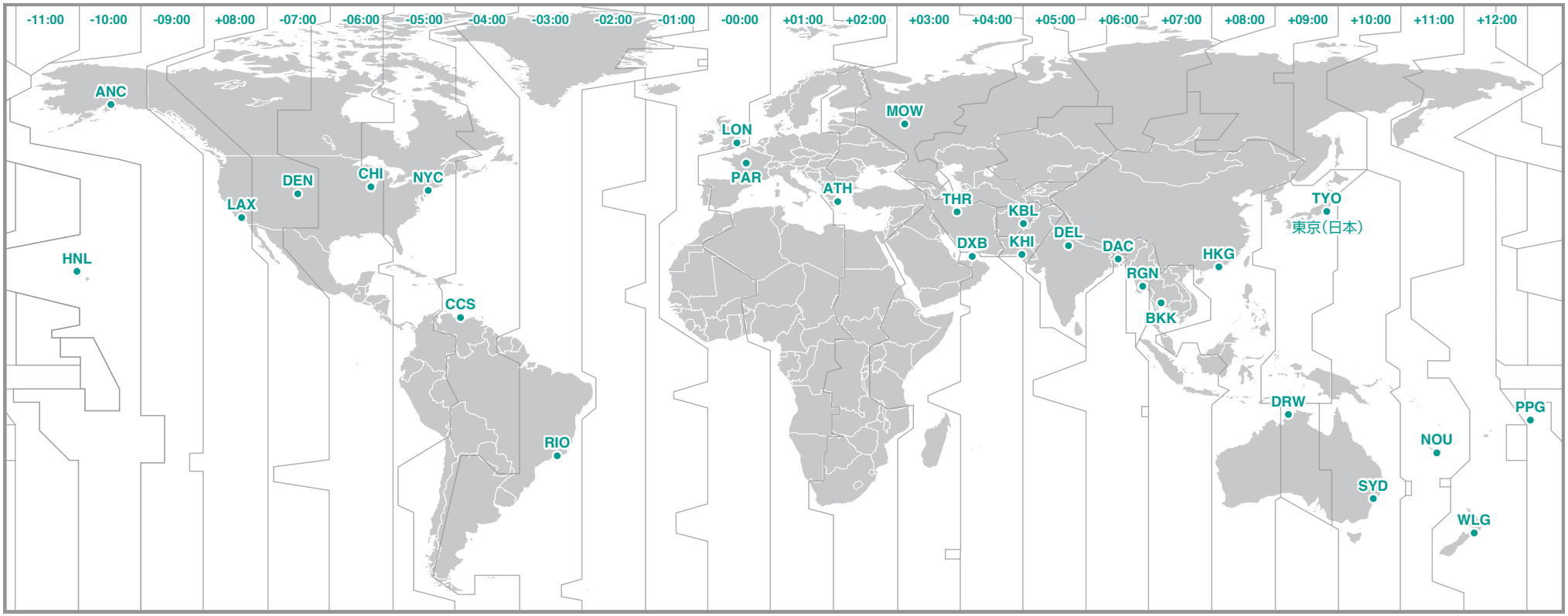




タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

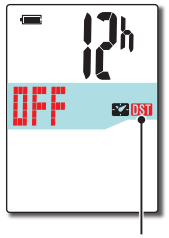
都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3



6 サマータイム（Daylight saving time）を選択します

※現在、日本ではサマータイムは導入されていません。
日本国内での使用では OFF を選択してください。

サマータイムが導入されている地域の場合は、季節に応じて設定することができます。
オンまたはオフを選択してください。



サマータイム
アイコン

設定	説明
オン	通常の時刻から 1 時間進みます。
オフ	通常の時刻で表示されます。

ON ↔ OFF

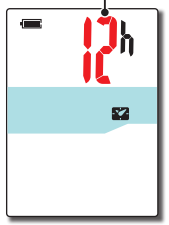
確定
（長押し）

※ サマータイムの期間に合わせ、オン／オフを切替えてください。

7 時刻の表示形式を選択します

「**12h**」（12 時間表示）または「**24h**」（24 時間表示）のいずれかの表示形式を選択してください。

表示形式



12h ↔ 24h

※ 日付・時刻は GPS 信号から取得されるため入力不要です。

8 MENU を押して設定を完了します

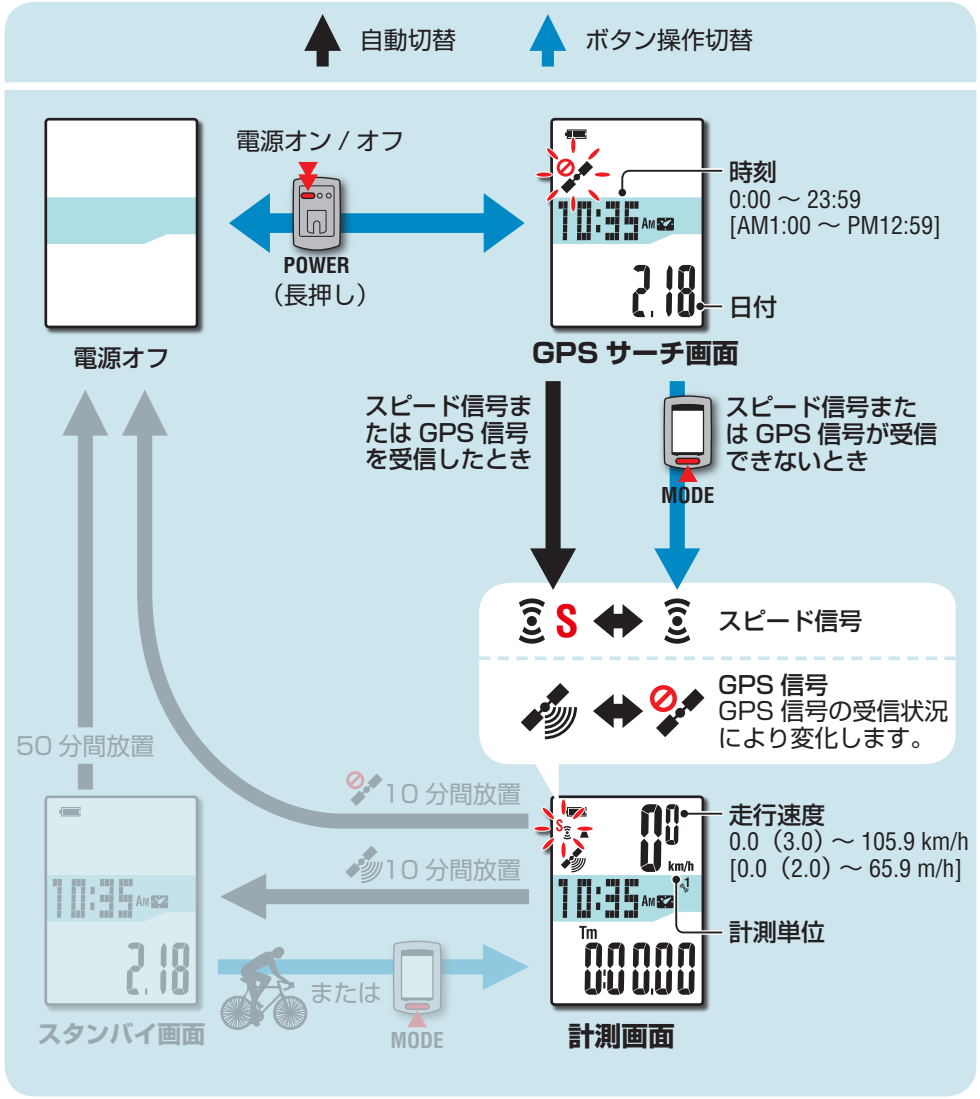
セットアップが完了し、GPS サーチ画面に切替ります。

セットアップ完了
（裏面）

以上で、コンピュータのセットアップは完了です。
使用方法については「コンピュータの使い方」（13 ページ）をご覧ください。

コンピュータの使い方

本器は GPS と ANT+ 信号受信機を搭載したサイクロコンピュータです。
ANT+ スピードセンサーを使用しない場合は、GPS 信号のみでサイクロコンピュータとして使用できますが、GPS 信号を受信できない環境では計測できません。
本器には GPS サーチ画面・計測画面・スタンバイ画面の 3 つの画面があり、スピード信号や GPS 信号の受信状況、自転車の動作状況に応じて表示が切替ります。
ここでは電源をオンにして計測を行うまでの画面の流れを説明します。



GPS サーチ画面（電源投入時）

電源をオンにすると GPS サーチ画面が表示され、GPS 信号非受信アイコン（）が点滅します。スピード信号を受信したらスピードセンサー信号アイコン（S）が点滅、GPS 信号を受信すると GPS 信号受信アイコン（）が点灯すると共に計測画面に切替ります。

※ スピード信号や GPS 信号を受信できない環境の場合は、**MODE** を押していずれの信号も非受信のまま計測画面に切替えることができます。

※ コンピュータは、電源投入後スピード信号・GPS 信号のサーチを開始します。受信状況によっては信号の受信に数分かかる場合があります。

計測画面

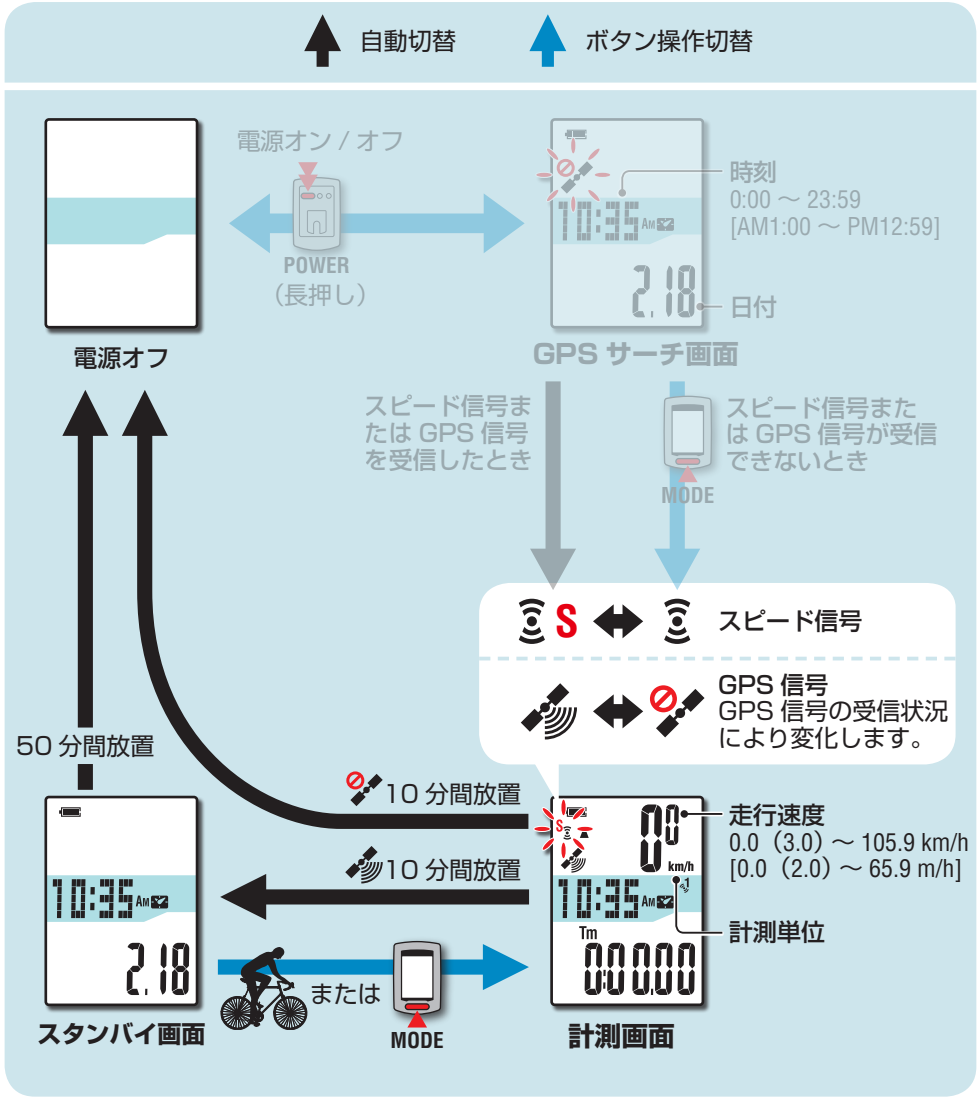
本器の基本画面です。計測中はこの画面で使用します。
計測のスタート／ストップ、計測中のデータ確認が行えます。スピード信号・GPS 信号の受信状況により、以下のように動きが異なります。

表示アイコン	計測	計測データの確認、リセット操作	走行ルートの記録
S（点滅）スピード信号受信中	○	○	○
（点灯）GPS 信号受信中			
S（点滅）スピード信号受信中	○	○	×
（点滅）GPS 信号非受信			
S（消灯）スピード信号非受信	○	○	○
（点灯）GPS 信号受信中			
S（消灯）スピード信号非受信	×	○	×
（点滅）GPS 信号非受信			

※ 計測のスタート／ストップ、計測データの確認、リセット操作については「計測画面の機能」（15 ページ）をご覧ください。

※ 記録された走行ルートは、トリップを CATEYE Atlas™ にアップロードすることで確認できます。詳しくは「計測データ（トリップデータ）のアップロード」（20 ページ）をご覧ください。

※ スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーを使用しない場合は、GPS 信号を受信できなくなると計測は中断します。



※ スピード信号・GPS 信号を受信せず、ボタンも押さない状態で 10 分間経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）

以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。

- トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など
- 悪天候（雪や雨など）
- 高圧電線や携帯電話の中継局の近く
- コンピュータの画面が上空を向いていない

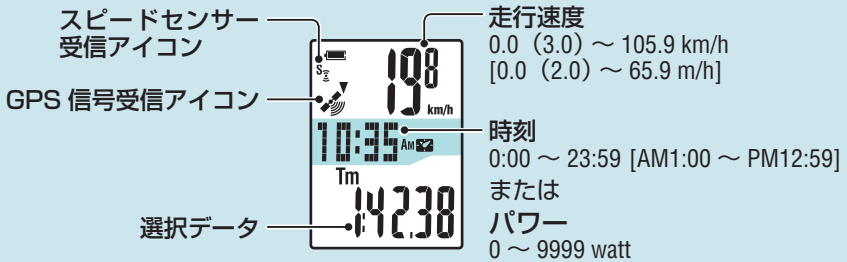
スタンバイ画面

計測画面でスピード信号または GPS 信号を受信中に自転車の動きやボタン操作がないまま 10 分間経過すると、自動的にスタンバイ画面に切替ります。
再び動き出すと計測画面に戻ります。

※ スタンバイ画面のまま 50 分間経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）

※ スタンバイ画面で GPS 信号を受信できなくなった場合は、GPS 信号非受信アイコン（）が点滅します。この場合、スピード信号を受信できない状態では自転車が動き出しても計測画面には戻りません。

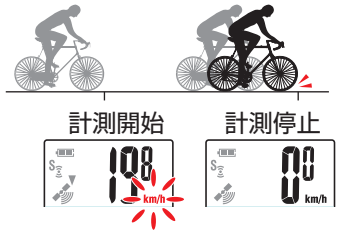
計測画面の機能



計測のスタート／ストップ

⚠注意 計測前と計測後は **MODE** ボタンを長押しして、リセット操作を行ってください。本器はリセット操作により新たな計測がスタートするので、リセットを忘れると長期間のトリップとなります。また使用しない時は電源は切ってください。

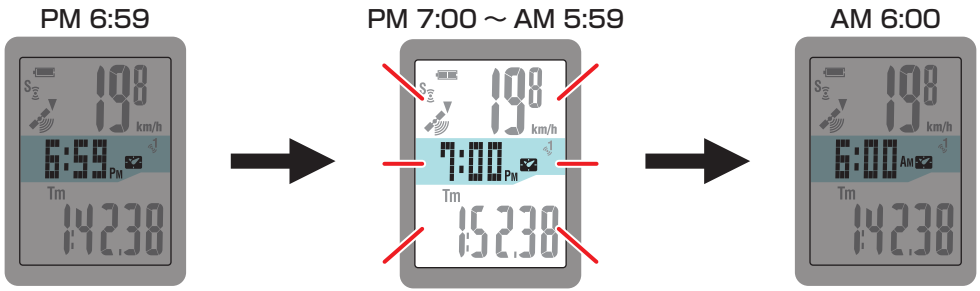
スピードセンサー信号アイコン（**S**）が点滅、または GPS 信号受信アイコン（）が点灯しているときは、自転車の動きに合わせて計測がスタート／ストップします。
計測中は計測単位が点滅します。



バックライト

夜間(ナイトタイム)に使用するときはバックライトが常時点灯します。

例：ナイトタイムの設定時間：PM7:00 ～ AM5:59

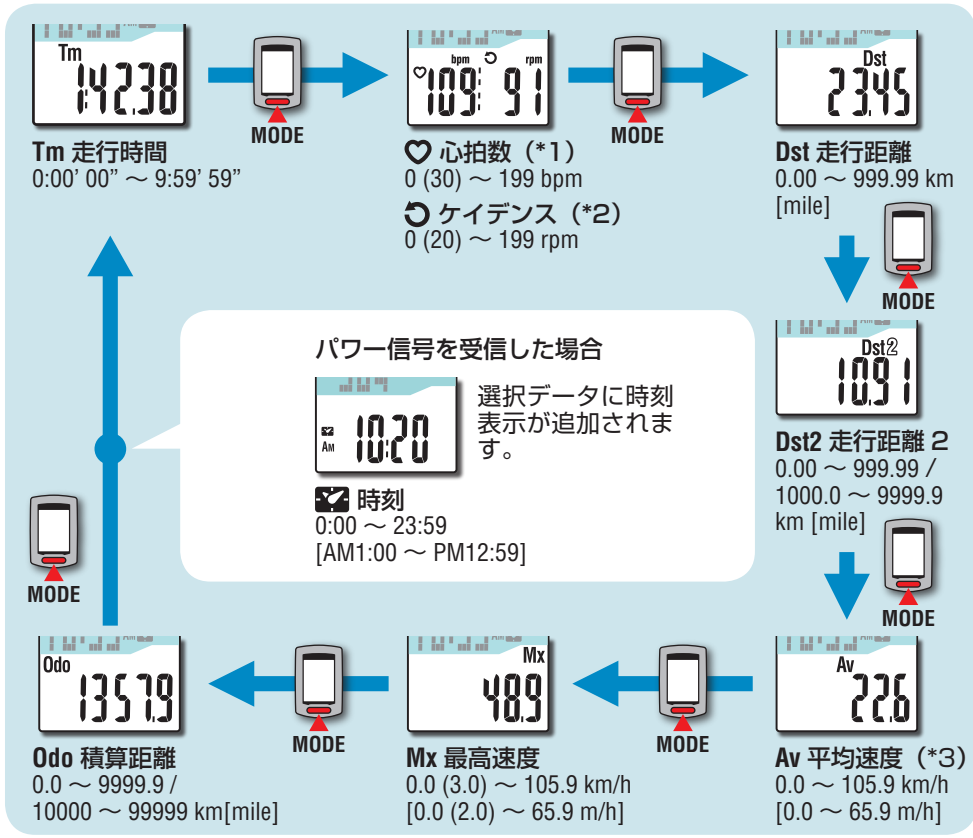


※ 夜間（ナイトタイム）の時間は自由に設定できます。
設定方法は「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。

※ 初期値は PM7:00 ～ AM6:00 に設定されています。

選択データの切替

MODE を押すと画面下段の計測データが図の順に切替ります。

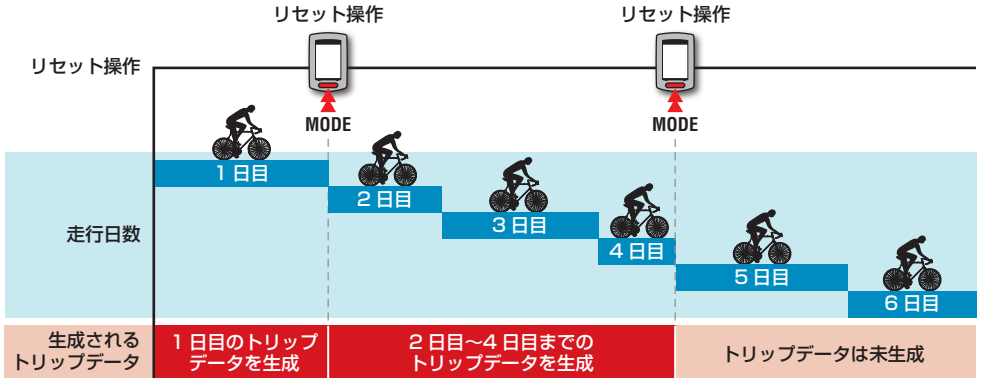


*1：ケイデンス信号が受信されない場合は、画面に 0 を表示します。
*2：心拍数信号が受信されない場合は、画面に 0 を表示します。
*3：平均速度は **Tm** 約 27 時間、または **Dst** 999.99 km を超えると “**.E** ” が表示され計測できません。データのリセットを行ってください。

計測データのリセット・トリップデータの生成

計測画面で **MODE** を押し続けると、計測データが 0 にリセットされます（リセット操作）。この時点でそれまで計測したデータがトリップデータとして生成されます。
トリップデータは専用アプリ「CATEYE Sync™」を経由して専用サイト「CATEYE Atlas™」にアップロードすることで、計測結果を確認すると共に走行記録を蓄積することができます。

（長押し）



※ 計測途中で電源をオフにしてもリセット操作をしない限りトリップは継続されます。

※ 走行距離 2（**Dst2**）は個別でリセットするため 0 に戻りません。
詳しくは、以下の「走行距離 2 のリセット」をご覧ください。

※ 積算距離（**Odo**）はリセットできません。

※ CATEYE Atlas™ へのアップロードについては「計測データ（トリップデータ）のアップロード」（20 ページ）をご覧ください。

※ コンピュータの記憶容量には上限があり、容量を超えると記憶できません。
詳しくは「記録間隔と容量制限」（23 ページ）をご覧ください。

走行距離 2 のリセット

走行距離 2（**Dst2**）を表示した状態で **MODE** を押し続けると、走行距離 2 だけが 0 にリセットされます。

※ 走行距離 2（**Dst2**）の値はトリップデータとしては保存できません。

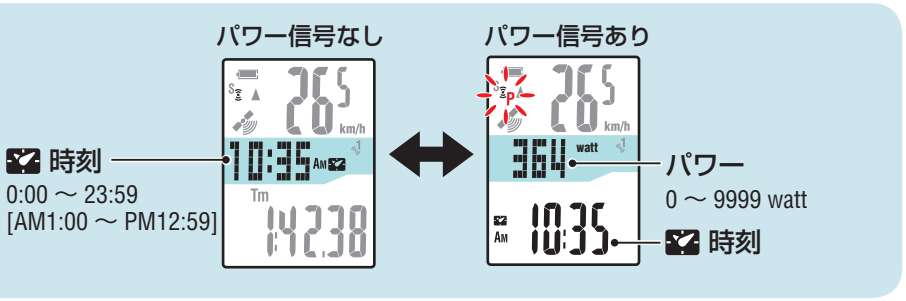
（長押し）

パワー計測

ANT +パワーセンサーをお持ちの場合に計測できます。

パワー信号を受信すると、計測画面の中段表示が時刻からパワーに切替ります。

※ 時刻表示は画面中段から画面下段の選択データに移動します。
詳しくは「選択データの切替」（15 ページ）をご覧ください。



パワーセンサーのキャリブレーション

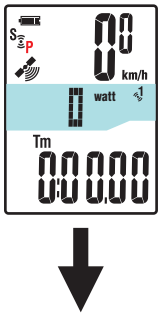
パワーセンサーは使い続けると無負荷状態に若干のずれが生じてきます。
定期的にキャリブレーションを実行して、補正を行ってください。
特に重要な計測をする場合は、事前のキャリブレーションをお勧めします。

※ キャリブレーションを開始する前にパワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、キャリブレーション時の注意事項をご確認ください。
キャリブレーションに失敗すると正確なパワー計測は行えません。

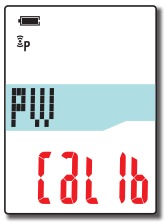
1 計測画面の計測停止中に MENU を 4 秒間長押しします

⚠注意 必ずパワーセンサー装着部品（クランクなど）に力をかけていない状態で行ってください。

キャリブレーション画面へ
（4 秒間長押し）

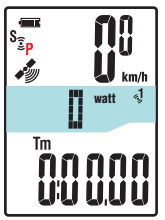


画面に **CALIB** が点滅しキャリブレーションが始まります。



3 秒後

3 秒後、キャリブレーションが完了して元の計測画面に戻ります。



PC のセットアップ

はじめに専用サイト CATEYE Atlas™ にアクセスして会員登録を行います。その後、PC（Windows/Mac）に CATEYE Sync™ をインストールしてください。本器で計測したトリップデータを CATEYE Atlas™ や STRAVA™、TrainingPeaks™ などにアップロードしたり、コンピュータの設定を PC から変更することが可能になります。

⚠注意 CATEYE Atlas™ へのアクセスや CATEYE Sync™ のダウンロードはインターネット接続環境のある PC で行ってください。

CATEYE Atlas™ の会員登録

- キャットアイ INOU をご使用で、既に会員登録されている場合は、同じアカウントを使用できます。
- 本器で取得したトリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合、CATEYE Atlas™ の会員登録は必須ではありません。CATEYE Sync™ をインストールして「トリップデータを他のサービスにアップロードする」（21 ページ）をご覧ください。

1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」（http://www.cateyeatlas.com）にアクセスします。

2 [新規会員登録] をクリックします

画面の手順に従って仮会員登録を行います。
登録後、CATEYE Atlas™ よりメールが届きます。
指定の URL にアクセスして本会員登録を行ってください。

※ 会員登録は無料です。

※ 入力必須事項のメールアドレス、パスワード、生年月日はメモして大切に保管してください。

3 [ログインはこちら] をクリックします

4 メールアドレス、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。

※ 引続き「CATEYE Sync™ をインストールする」（本ページ右）をご覧ください。

CATEYE Sync™ をインストールする

CATEYE Sync™ の動作環境

OS	Windows XP（32 bit）、Vista / 7 / 8（32 bit / 64 bit） ※ .NET Framework 3.5 が必要です。 Mac OS 10.4 ～ 10.7（Intel Mac のみ）
メモリ	各 OS の推奨環境
HDD	必要な空き容量 64 MB 以上
ブラウザ	Internet Explorer 7 以降、Safari 4.0 以降、Firefox、Google Chrome 5.0 以降

CATEYE Sync™ のインストール方法

1 [CATEYE Sync 今すぐダウンロード] をクリックします

画面の手順に従ってファイルをダウンロードします。

2 ダウンロードしたファイルから実行ファイルをダブルクリックします

OS	実行ファイル
Windows の場合	[CateyeSyncInstaller.exe]
Mac の場合	[Install CATEYESync.dmg]

※ Windows Vista / 7 / 8 のプログラムの実行には、管理者権限が必要です。

3 画面に従ってインストールを実行します

インストールが完了すると CATEYE Sync™ が起動します。

※ Mac の場合は cateyeAgent フォルダをアプリケーションフォルダにコピーし、Install CATEYESync アイコンをダブルクリックしてください。

※ 引続き「CATEYE Sync™ を設定する」（19 ページ）をご覧ください。

CATEYE Sync™ を設定する

CATEYE Sync™のインストール後､CATEYE Atlas™のログイン設定を行います。

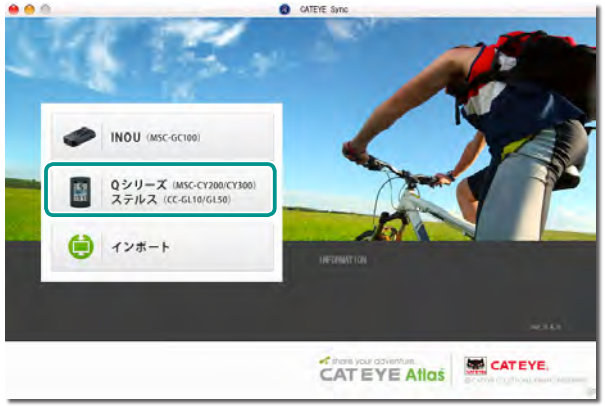
※ トリップデータを STRAVA™ や TrainingPeaks™ だけにアップロードする場合は、以下の設定は必要ありません。

1 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

2 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。



3 [各種設定] をクリックします

設定画面が表示されます。

4 [ログイン設定] をクリックしてメールアドレス、パスワードを入力します

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力します。

5 [設定] をクリックします

CATEYE Sync™ のログイン設定が完了します。
以上で PC のセットアップは完了です。

※ トリップデータのアップロード方法については「計測データ（トリップデータ）のアップロード」（20 ページ）をご覧ください。

※ CATEYE Sync™ では、「コンピュータのセットアップ」（7 ページ）で行った各設定項目をコンピュータに同期させることができます。（ペアリングを除く）詳しくは「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。

※ キャットアイ INOU をご使用の場合は、[INOU] をクリックして INOU Sync を起動します。新たにキャットアイ INOU をご使用になる場合は、別途 CATEYE Sync™ INOU 用を CATEYE Atlas™ からダウンロード、インストールしてください。

計測データ(トリップデータ)のアップロード

リセット操作により、生成されたトリップデータは以下の手順で専用サイト CATEYE Atlas™ や他のサービス（STRAVA™ など）にアップロードできます。

トリップデータを CATEYE Atlas™ にアップロードする

コンピュータのトリップデータを PC に保存し、任意のトリップデータを CATEYE Atlas™ にアップロードします。

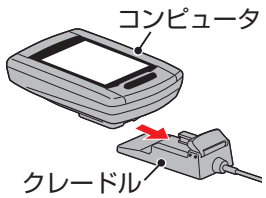
※ リセット操作していないトリップデータは CATEYE Sync™ で認識されません。
クレードルにセットする前にコンピュータをリセット操作してください。

ビデオを見る
（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

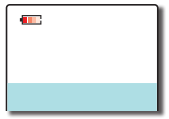
1 コンピュータをクレードルにセットします

⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



2 USB プラグを PC に差込みます

画面は （バッテリーアイコン）表示のみになります。



3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

4 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。

5 ［データ取り込み］をクリックします

機種選択ダイアログが表示されます。

6 [ステルス] をクリックします

トリップデータが PC に転送され、データー覧画面が表示されます。

※ 正常に PC に転送されたトリップデータは、自動的にコンピュータから消去されます。

※ リセット操作を行っていない計測途中のデータは読込めません。

7 アップロードしたいトリップデータにチェックを付けて [アップロード] をクリックします

トリップデータが CATEYE Atlas™ にアップロードされます。

距離 0.00 km のトリップデータ
読み込まれたトリップデータには、計測前のリセット操作で生成されるデータが含まれます。
不要なトリップデータはチェックを付けて［削除］をクリックしてください。

※ トリップデータの容量や回線状態によってはアップロードに時間がかかる場合があります。

トリップデータを他のサービスにアップロードする

アップロードしたいトリップデータにチェックを付けて目的のサービスアイコンをクリックします。

※ 他のサービスサイトへのアップロードには各サービスサイトのアカウントが必要です。

※ はじめてアップロードする際は、各サービスサイトの認証が必要です。
サービスサイトが発行する認証コードを CATEYE Sync の認証ダイアログに入力して実行してください。

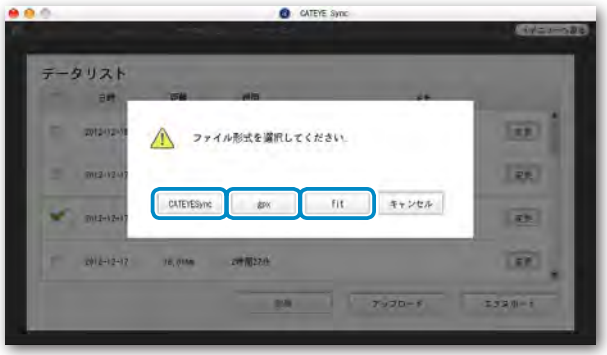
トリップデータのエクスポート

CATEYE Sync™ に保存されているトリップデータは、エクスポートしてファイルを生成することができます。

1 データー覧画面から任意のトリップデータにチェックを付けて [エクスポート] をクリックします

ファイル形式選択ダイアログが表示されます。

2 書出すファイル形式をクリックします

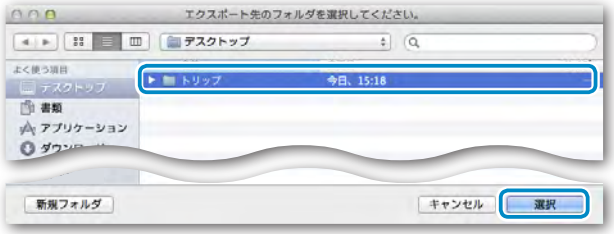


ファイル形式	説明
CATEYESync（.ces）	CATEYE Sync™ に読込み可能なファイル ※ PC の買替えなど、これまでのトリップデータを新しい PC に移動する場合などに活用ください。
.gpx	汎用的な GPS データファイル ※ Google Earth™ などに読込み活用ください。
.fit	STRAVA™ や TrainingPeaks™ に読込み可能なファイル

保存先選択ウィンドウが表示されます。

3 任意の保存先を選び［選択］をクリックします

指定した場所にファイルが書出されます。



e-Train Data™ などのデータを CATEYE Sync™ にインポートする

e-Train Data™ に読込まれた計測データを CATEYE Sync™ にインポートすることで、CATEYE Atlas™ や他のサービス（STRAVA™ など）で活用できます。

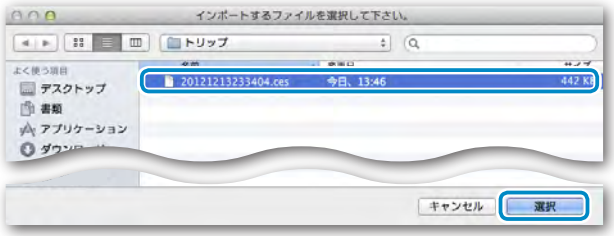
1 e-Train Data™ から計測データをエクスポートしてファイルを準備します

※ e-Train Data™ のエクスポート方法については、e-Train Data™ 取扱説明書をご覧ください。

2 トップ画面から［インポート］をクリックします

ファイル選択ウィンドウが表示されます。

3 読み込みたいファイルを選択して［選択］をクリックします



ファイル形式	説明
.etd	e-Train Data™ Ver.3/4 ファイル
.csv	e-Train Data™ Ver.2 ファイル（※）
.ces	CATEYE Sync ファイル

※ 他の PC でエクスポートした CATEYE Sync ファイルも読み込むことができます。

※ e-Train Data™ Ver.2 以外で作成された CSV ファイルはインポートできません。

データー覧画面が表示され、選択したファイルがデータリストに追加されます。

トリップデータについて

トリップデータに含まれるデータ

日付・時刻（計測がスタートした日付・時刻）

走行時間

指定した記録間隔で記録されるデータ

- 位置情報
- 走行距離
- 海抜高度
- 走行速度
- ケイデンス ※ 1
- 心拍数 ※ 1
- パワー ※ 1

※ 1：ANT+ 対応の各センサーをご使用の場合に計測されます。

記録間隔と容量制限

本器は設定した一定の間隔でデータを記録します。記録間隔は、1 秒・2 秒・5 秒から選択でき、用途に合わせて変更できます。(初期値：1 秒)
最大記録時間および 1 トリップの最大時間は、選択した記録間隔により以下のように変化します。

記録間隔	最大記録時間（全トリップデータの合計時間）	1 トリップの最大時間	最大トリップ数
1 秒	35 時間	12 時間	250 トリップ
2 秒	70 時間	24 時間	
5 秒	175 時間	60 時間	

※ 上記の記録時間およびトリップ数は目安であり、使用状況などにより異なります。

※ 記録間隔の設定については「コンピュータの設定変更」(27 ページ)をご覧ください。

※ 上表のいずれかの条件を超えると画面に **MEM FULL** を点滅表示させ、以降の記録ができなくなります。トリップデータを CATEYE Sync™ に移動させ、コンピュータの記憶容量を確保してください。1 トリップの最大時間を超えた場合のみ、リセット操作（16 ページ）することで別トリップとして計測を開始できます。

トリップを確認・編集・公開する（CATEYE Atlas™ でできること）

CATEYE Atlas™ にアップロードしたトリップデータはトリップ情報を編集して、公開設定することで、トリップを友達や他のユーザーと共有することができます。

1 CATEYE Atlas™ にアクセスします

ブラウザで Web サイト「CATEYE Atlas™」（http://www.cateyeatlas.com）にアクセスします。

2 [ログインはこちら] をクリックします

※ 会員登録がまだの場合は「CATEYE Atlas™ の会員登録」（18 ページ）をご覧ください。

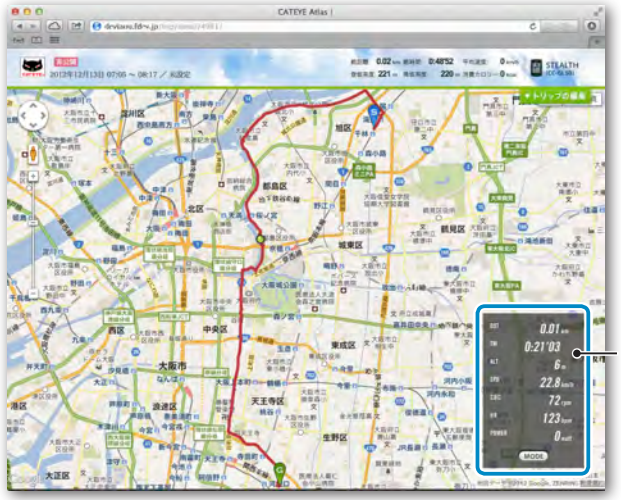
3 メールアドレス、パスワードを入力して［ログイン］をクリックします

登録したメールアドレス、パスワードを正しく入力して、ログインします。
［マイページ］が表示されます。

※ マイページでは、これまでのトリップの確認や走行実績、一定期間の目標走行距離を設定することができます。

4 アップロードしたトリップをクリックします

走行ルートが描かれたマップとメーター（計測値）が表示されます。



※ メーターの **MODE** をクリックするとメーターの表示が切替わります。

5 マップ右上の［トリップの編集］をクリックします

トリップ情報の編集画面が表示されます。
トリップのタイトルや自転車、メモなどの情報を入力してください。

6 公開設定を選択します

公開設定を選択します。

- **非公開**　　：ご自身のアカウントでのみ見ることができます。
- **公開**　　：全てのユーザーが見ることができます。
- **フレンドのみ公開**：あなたのフレンドのみ見ることができます。

7 ［この内容で保存する］をクリックします

以上でトリップ情報の編集は完了です。

GPS ポイントを削除する

ルート上から特定の GPS ポイントを削除することができます。

❶ **トリップ情報の編集画面から［GPS ポイントの削除］をクリックします**
マップ上にルートが表示されます。

❷ **削除したいルート範囲の始点をクリックします**
カーソルの動きに合わせて範囲が表示されます。

❸ **削除したいルートに範囲が重なるように終点をクリックします**
確認メッセージが表示されます。

❹ **［削除］をクリックします**
指定範囲の GPS ポイントが削除されます。

トリップを削除する

表示中のトリップを削除することができます。

❶ **トリップ情報の編集画面から［トリップの削除］をクリックします**

❷ **［削除する］をクリックします**

※ PC 上の CATEYE Sync™ のトリップデータに影響はありません。

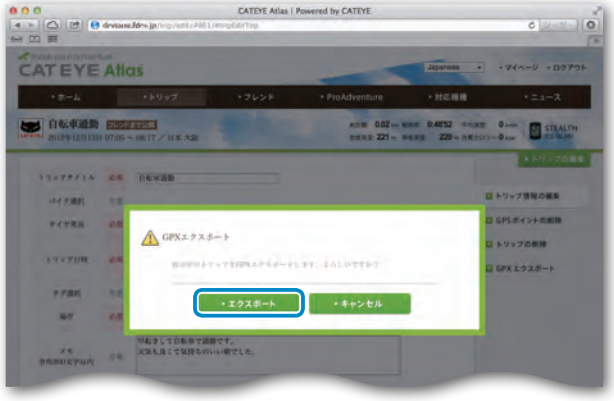
※ 削除したトリップは CATEYE Sync™ から再度アップロードすることで戻すことができます。

GPX ファイルにエクスポートする

トリップから汎用的な GPS データファイルを書き出します。
Google Earth™ など、他のソフトウェアで活用する場合にご使用ください。

❶ **トリップ情報の編集画面から［GPX エクスポート］をクリックします**
確認メッセージが表示されます。

❷ **［エクスポート］をクリックします**
GPX ファイルがダウンロードされます。



コンピュータの設定変更

コンピュータの設定変更は以下の方法で行えます。

- CATEYE Sync™ で設定を変更する（本ページ下）
  コンピュータと PC をクレードルで接続した状態で、PC のアプリから簡単に設定を変更できます。

  ⚠注意 ANT+ センサーのペアリングは、CATEYE Sync™ では行えません。ペアリング方法については、「ペアリング」（32 ページ）をご覧ください。

- コンピュータ単体で設定を変更する（29 ページ）
  フィールドで設定変更をする場合にご利用できます。

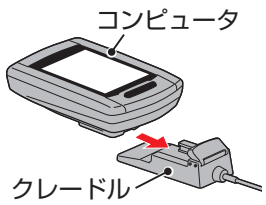
CATEYE Sync™ で設定を変更する

ビデオを見る（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

1 コンピュータをクレードルにセットします

⚠注意 コンピュータが濡れた状態でクレードルに接続しないでください。
接点がショートしコンピュータやデータを損傷する場合があります。



2 USB プラグを PC に差込みます

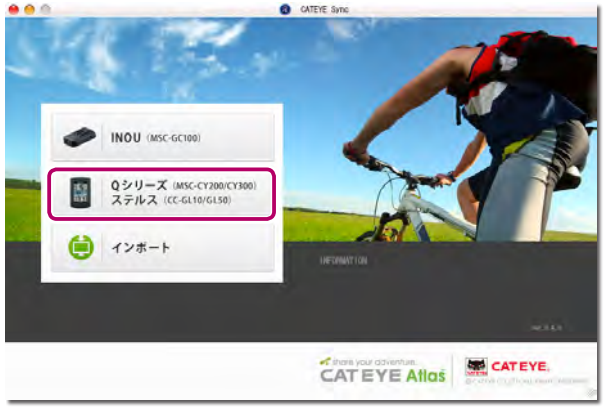
画面は（バッテリーアイコン）表示のみになります。

3 CATEYE Sync™ を起動します

デスクトップまたはショートカットの［CATEYE Sync™］をダブルクリックすると、CATEYE Sync™ が起動します。

4 [Q シリーズ／ステルス] をクリックします

メニュー画面が表示されます。



5 ［各種設定］をクリックします

設定画面が表示されます。

6 [ステルス] をクリックして各種設定を変更します

設定を変更する前に［読み込み］をクリックして、コンピュータの設定値を読込んでください。

コンピュータに記録したデータを消去します。

現時点のコンピュータの設定値を読込みます。

下記の手順に従い設定内容を変更します。

設定項目	内容
タイムゾーン	現在地から最も近い都市コードを選択します。 ※ 詳しくは「タイムゾーン一覧」(11 ページ)をご覧ください。
サマータイム	サマータイムを適用するかどうかを選択します。 • **On**：通常の時刻から 1 時間進みます。 • **Off**：通常の時刻で表示されます。 ※ 日本では導入されていませんので **Off** を選択してください。
計測単位	速度単位（**km/h** または **m/h**）を選択します。
夜間設定	バックライトが点灯する時間を設定します。 • **夜間設定オン**：バックライトの点灯開始時刻を入力します。 • **夜間設定オフ**：バックライトの消灯時刻を入力します。 (例) PM7:00 ～ AM6:00 まで点灯する場合 夜間設定オン：19 夜間設定オフ：6 ※ 終日バックライトを点灯させたくない場合は、夜間設定オンと夜間設定オフを同じ値にしてください。
タイヤ周長	ANT +スピードセンサーまたはスピード / ケイデンス（ISC）センサーのペアリングを行った場合に設定します。 ペアリングを行ったスピードセンサーまたはスピード／ケイデンスセンサーにタイヤ周長を割当てます。 (設定範囲：0100 – 3999 mm) • **ISC1**（**ISC:1**）：スピード／ケイデンスセンサー 1 • **SPD1**（**SP:1**）：スピードセンサー 1 • **ISC2**（**ISC:2**）：スピード／ケイデンスセンサー 2 • **SPD2**（**SP:2**）：スピードセンサー 2 ※ 初期設定は 2096 が設定されます。 ※ ペアリングされていないセンサーは、タイヤ周長を入力しても設定されません。 ※ **ISC2**、**SPD2** は 1 つのコンピュータを 2 台の自転車で併用する場合に使用します。 詳しくは「ペアリング」(32 ページ) をご覧ください。
積算距離	積算距離の開始値を入力でき、その値から加算されます。 (設定範囲：00000 – 99999) ※ コンピュータの買換時や再設定する場合に活用ください。 ※ 積算距離は整数のみを入力します。
サンプリング間隔	計測データの記録間隔を設定します。 ※ 選択した秒数により、最大記録時間（全トリップデータの合計時間）／ 1 トリップ最大時間は異なります。 • **1s**（1 秒間隔）： 35 時間／ 12 時間 • **2s**（2 秒間隔）： 70 時間／ 24 時間 • **5s**（5 秒間隔）：175 時間／ 60 時間
時間表記	「**12h**」(12 時間表示)または「**24h**」(24 時間表示)を選択します。 ※ 日付・時刻は GPS 信号から取得されるため入力不要です。

7 [設定] をクリックします

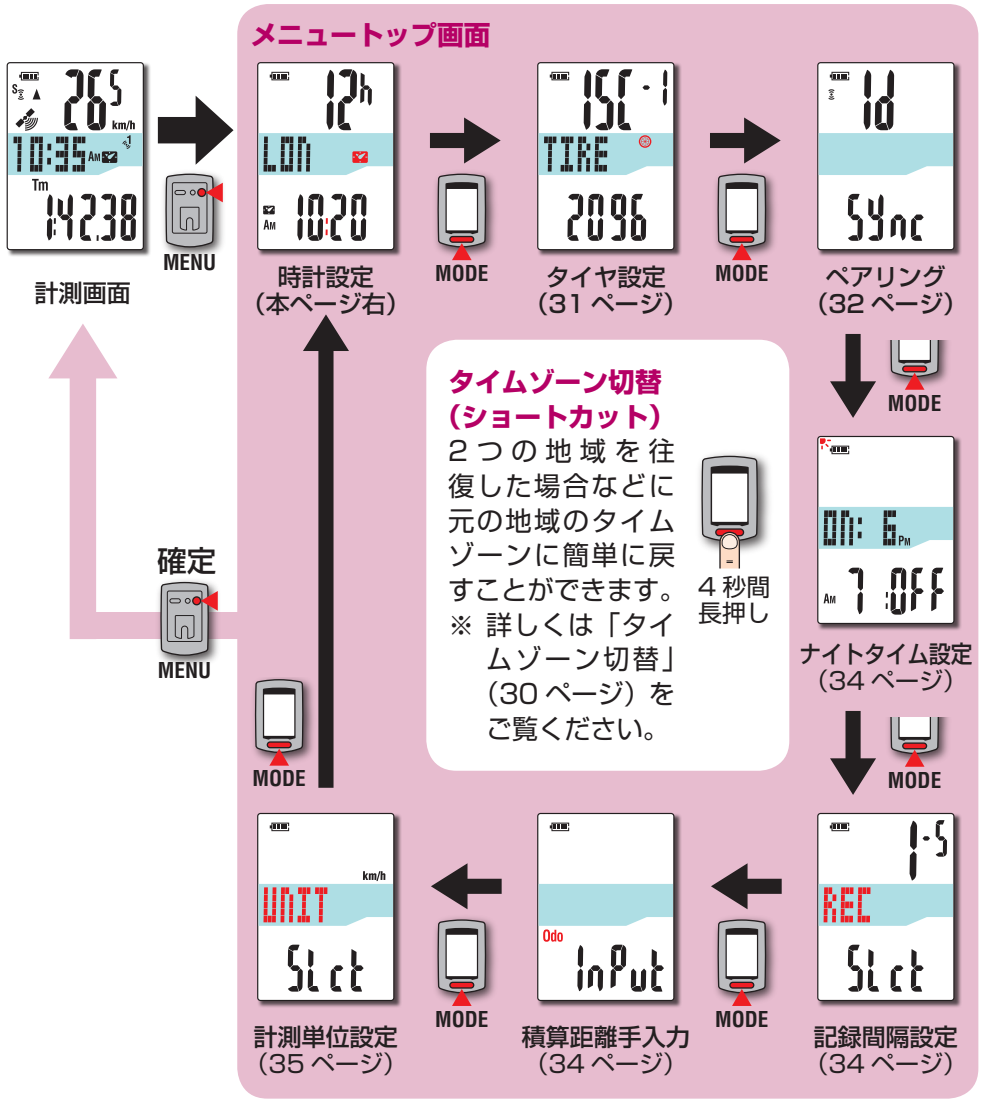
変更内容がコンピュータに反映されます。
クレードルからコンピュータを外して設定変更は完了です。

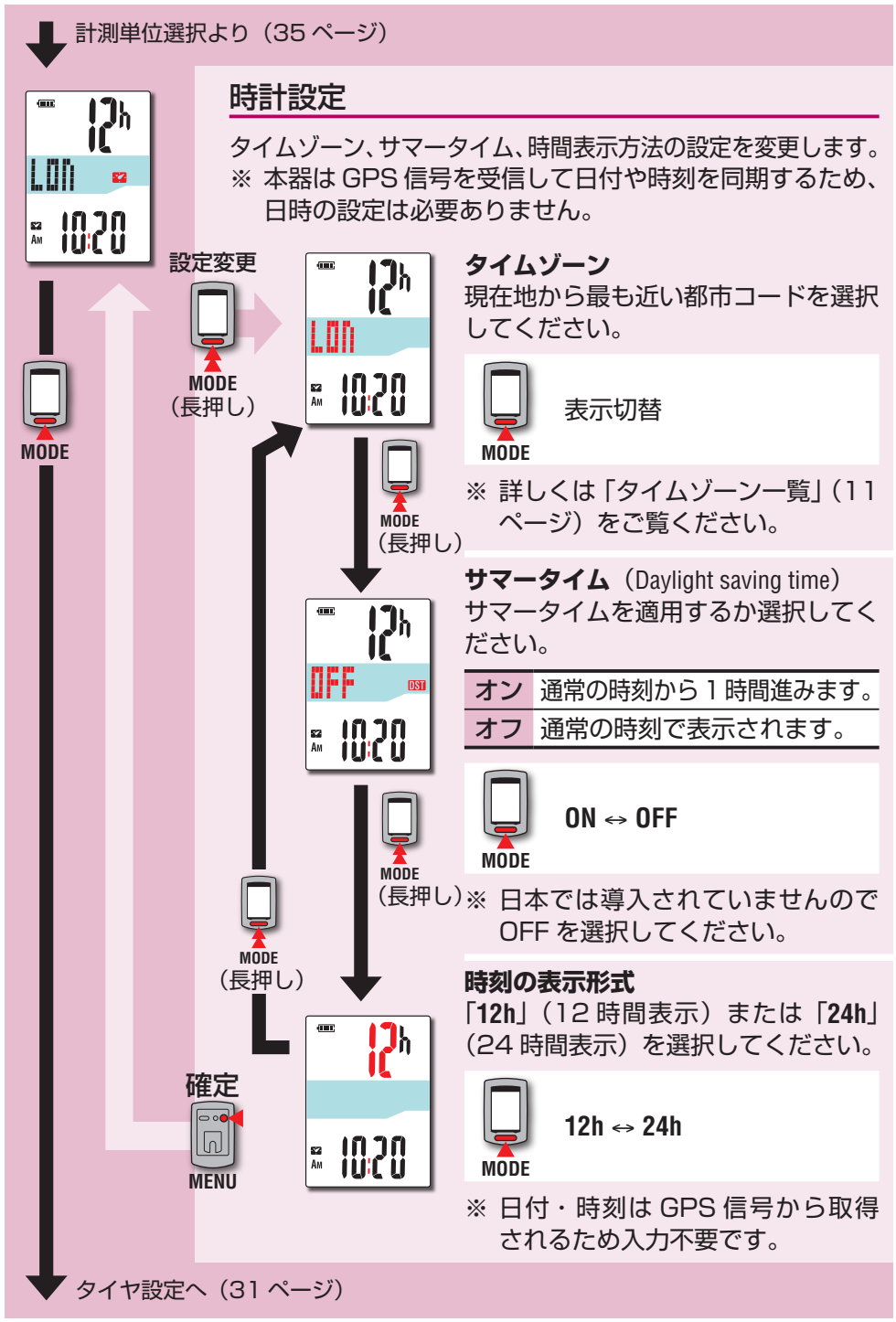
コンピュータ単体で設定を変更する

計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に切替ります。メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

※ 設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。

※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。



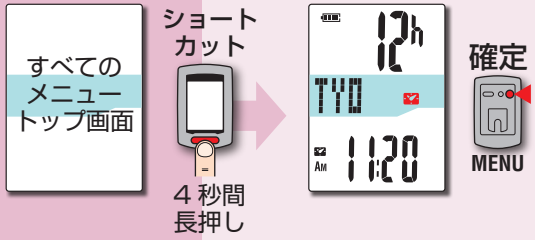


タイムゾーン切替（ショートカット）

すべてのメニュートップ画面で **MODE** を４秒間押し続けるとタイムゾーンを１つ前のタイムゾーンに戻します。もう一度押し続けると元のタイムゾーンに戻ります。

例：タイムゾーン切替を行います

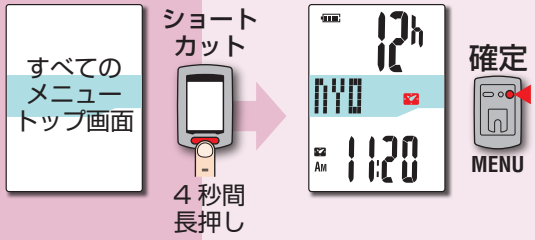
現在の設定	**NYC**（ニューヨーク）
前回の設定	**TYO**（東京）



タイムゾーンが **NYC**（ニューヨーク）から前回の設定の **TYO**（東京）に変更されます。

もう一度、タイムゾーン切替を行います

現在の設定	**TYO**（東京）
変更前の設定	**NYC**（ニューヨーク）



タイムゾーンが **TYO**（東京）から変更前の **NYC**（ニューヨーク）に変更されます。

※ タイムゾーンの異なる２つの都市を行き来する場合は、２つ目の都市でタイムゾーンを変更しても、ショートカット操作を行うことで簡単に元の都市のタイムゾーンに戻すことができます。

※ ショートカットで保持されるタイムゾーンは、１つ前の設定のみです。

タイムゾーン一覧

都市コード	都市名	時差
LON	ロンドン	0
PAR	パリ	+1
ATH	アテネ	+2
MOW	モスクワ	+3
THR	テヘラン	+3.5
DXB	ドバイ	+4
KBL	カブール	+4.5
KHI	カラチ	+5
DEL	デリー	+5.5
DAC	ダッカ	+6
RGN	ヤンゴン	+6.5
BKK	バンコク	+7
HKG	香港	+8
TYO	東京	+9

都市コード	都市名	時差
DRW	ダーウィン	+9.5
SYD	シドニー	+10
NOU	ヌメア	+11
WLG	ウェリントン	+12
PPG	パゴパゴ	-11
HNL	ホノルル	-10
ANC	アンカレッジ	-9
LAX	ロサンゼルス	-8
DEN	デンバー	-7
CHI	シカゴ	-6
NYC	ニューヨーク	-5
CCS	カラカス	-4
RIO	リオデジャネイロ	-3

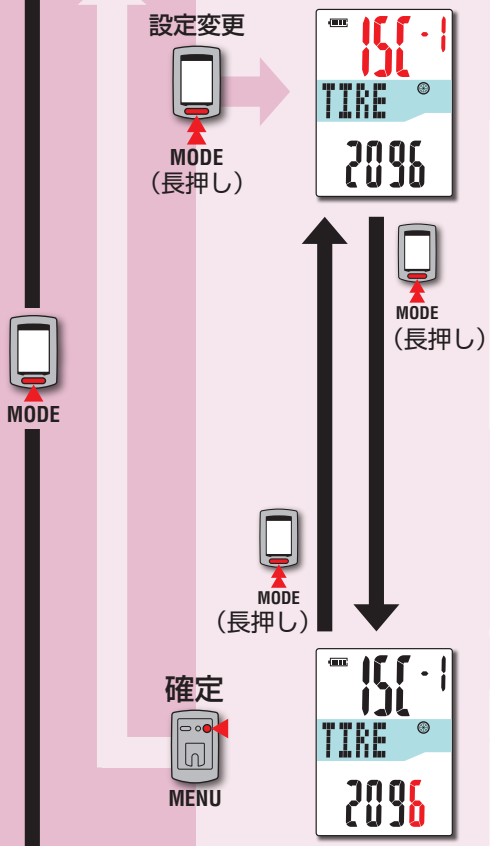
※ 詳しくは、11 ページの地図でご確認ください。

時計設定より（29 ページ）

タイヤ設定

ANT +スピードセンサーまたはスピード / ケイデンス（ISC）センサーのペアリングを行った場合に設定します。

ペアリングを行ったスピードセンサーまたはスピード／ケイデンスセンサーにタイヤ周長を割当てます。



センサーの選択

タイヤ周長を設定するセンサーを選択してください。

MODE
- ISC:1（スピード／ケイデンスセンサー 1）
- SP:1（スピードセンサー 1）
- ISC:2（スピード／ケイデンスセンサー 2）
- SP:2（スピードセンサー 2）

※ 使用中のセンサーが最初に表示されます。

※ **ISC:2**、**SP:2** は 1 つのコンピュータを 2 台の自転車で併用する場合に使用します。詳しくは「ペアリング」（32 ページ）をご覧ください。

タイヤ周長の入力

設定範囲：0100 - 3999 mm

MODE 数値の増加

MODE 桁移動（長押し）

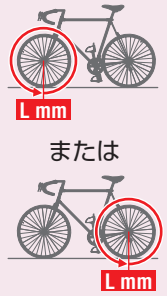
タイヤ周長について

タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める

タイヤの空気圧を適正にし、荷重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。

※ センサーを装着する側のタイヤを測ります。



タイヤ周長ガイド

※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

ETRTO	Tire size	L (mm)
47-203	12x1.75	935
54-203	12x1.95	940
40-254	14x1.50	1020
47-254	14x1.75	1055
40-305	16x1.50	1185
47-305	16x1.75	1195
54-305	16x2.00	1245
28-349	16x1-1/8	1290
37-349	16x1-3/8	1300
32-369	17x1-1/4(369)	1340
40-355	18x1.50	1340
47-355	18x1.75	1350
32-406	20x1.25	1450
35-406	20x1.35	1460
40-406	20x1.50	1490
47-406	20x1.75	1515
50-406	20x1.95	1565
28-451	20x1-1/8	1545
37-451	20x1-3/8	1615
37-501	22x1-3/8	1770
40-501	22x1-1/2	1785
47-507	24x1.75	1890
50-507	24x2.00	1925
54-507	24x2.125	1965

ETRTO	Tire size	L (mm)
25-520	24x1(520)	1753
	24x3/4 Tubuler	1785
28-540	24x1-1/8	1795
32-540	24x1-1/4	1905
25-559	26x1(559)	1913
32-559	26x1.25	1950
37-559	26x1.40	2005
40-559	26x1.50	2010
47-559	26x1.75	2023
50-559	26x1.95	2050
54-559	26x2.10	2068
57-559	26x2.125	2070
58-559	26x2.35	2083
75-559	26x3.00	2170
28-590	26x1-1/8	1970
37-590	26x1-3/8	2068
37-584	26x1-1/2	2100
	650C Tubuler 26x7/8	1920
20-571	650x20C	1938
23-571	650x23C	1944
25-571	650x25C 26x1(571)	1952
40-590	650x38A	2125

ETRTO	Tire size	L (mm)
40-584	650x38B	2105
25-630	27x1(630)	2145
28-630	27x1-1/8	2155
32-630	27x1-1/4	2161
37-630	27x1-3/8	2169
18-622	700x18C	2070
19-622	700x19C	2080
20-622	700x20C	2086
23-622	**700x23C**	**2096**
25-622	700x25C	2105
28-622	700x28C	2136
30-622	700x30C	2146
32-622	700x32C	2155
	700C Tubuler	2130
35-622	700x35C	2168
38-622	700x38C	2180
40-622	700x40C	2200
42-622	700x42C	2224
44-622	700x44C	2235
45-622	700x45C	2242
47-622	700x47C	2268
54-622	29x2.1	2288
60-622	29x2.3	2326

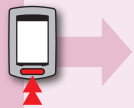
ペアリングへ（32 ページ）

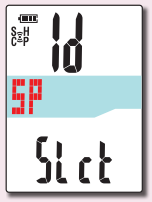
タイヤ設定より（31 ページ）

ペアリング（センサー ID 照合）

ANT +センサーをお持ちの場合に設定します。

設定変更



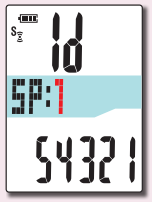


センサーの選択

ペアリングするセンサーを選択してください。

→ **SP**（スピードセンサー）
↓
ISC（※）（スピード／ケイデンスセンサー）
↓
CD（ケイデンスセンサー）
↓
HR（心拍センサー）
↓
PW（パワーセンサー）

※ CATEYE 製スピード / ケイデンスセンサー（ISC-11）の場合は［**ISC**］を選択してペアリングを行います。



センサー No. の選択

コンピュータには、1 種類のセンサーにつき 2 つのセンサー ID を登録することができます。

1（1 台目）↔ **2**（2 台目）

※ 2 台目の自転車に取付けたセンサーを **2**（2 台目）でペアリングすることでコンピュータは 2 台の自転車を自動的に識別することができます。

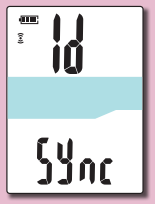
※ 次手順は、自動照合と ID 番号の手入力により、手順が異なります。状況に応じた方法をご覧ください。

つづく
（33 ページ）

ANT+ センサーを追加･再設定する場合は、以下の手順でペアリングを行います。本器のペアリングには以下の 2 つの方法があります。

照合方法	説明
自動照合	センサーが発信する信号をコンピュータが受信してペアリングを完了させます。 ※ 一般的にはこの方法でペアリングを実施してください。
ID 番号の手入力	センサーの ID 番号がわかっている場合は、その番号を入力してペアリングすることができます。 ※ レース会場など複数の ANT+ センサーが存在して、自動照合ができない場合などにご利用いただけます。

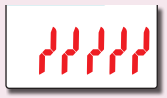
ナイトタイム設定へ（34 ページ）



MODE

ペアリング（つづき）

MODE（長押し）



自動照合開始

MODE（長押し）

センサー信号

照合完了

自動照合の場合

MODE を長押しすると画面下段の表示が切替り、自動照合を開始します。
自動照合画面の間にセンサー信号を発信させてください。

※ 近くに他の ANT+ センサーがある場合は、照合するセンサーの信号を発信させてから **MODE** を長押ししてください。目的のセンサーとペアリングしやすくなります。

画面に ID 番号が表示されます。

※ ID 番号はセンサー固有の番号ですのでひかえておくと便利です。

※ 各センサーは以下の動作でセンサー信号を発信します。

センサーの種類	方法
SP スピードセンサー	マグネットをセンサーゾーンに数回近づける（間隔 3 mm 以内）
ISC スピード／ケイデンスセンサー	
CD ケイデンスセンサー	
HR 心拍センサー	心拍センサーを装着する
PW パワーセンサー	自転車に乗って軽く走行する

※ コンピュータは、自動照合開始後、5 分間待受状態になります。
この間にセンサーの信号を発信させてください。

※ センサー信号の待受中に **MODE** を長押しすると自動照合をキャンセルできます。
なお、待受時間内にセンサー信号を受信できない場合は強制的にキャンセルとなります。

ID 番号の手入力の場合

MODE

自動照合の開始後、3 秒以内に **MODE** を押すと ID 番号入力画面に切替ります。

ID 番号入力画面

MODE で数値を入力して、長押しで桁移動します。

設定範囲：00001 – 65535

MODE　数値の増加

MODE　桁移動（長押し）

確定 MENU

確定 MENU

ナイトタイム設定へ（34 ページ）

ペアリングより（32 ページ）

ナイトタイム設定

バックライトが点灯する時間を設定します。

※ 終日バックライトを点灯させたくない場合は、開始時間と終了時間を同じ時刻にしてください。

MODE

設定変更

MODE（長押し）

開始時間

バックライトの点灯開始時刻を入力します。

MODE 数値増加

MODE（長押し）

MODE（長押し）

終了時間

バックライトの消灯時刻を入力します。

確定

MENU

MODE 数値増加

記録間隔設定へ

ナイトタイム設定より

記録間隔設定

計測データを記録する秒間隔を設定します。

※ 選択した秒数により、コンピュータで記録できる最大記録時間／ 1 トリップの最大時間は変化します。

MODE

設定変更

MODE（長押し）

確定

MENU

記録間隔	最大記録時間（全トリップデータの合計時間）	1 トリップの最大時間
1-S（1 秒）	35 時間	12 時間
2-S（2 秒）	70 時間	24 時間
5-S（5 秒）	175 時間	60 時間

MODE 1-S → 2-S → 5-S

積算距離手入力

積算距離の開始値を入力でき、その値から加算されます。買換時や再設定する場合に活用ください。

※ 積算距離は整数のみを入力します。

MODE

設定変更

MODE（長押し）

(00000 — 99999)

確定

MENU

MODE 数値増加

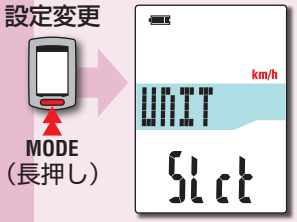
MODE 桁移動（長押し）

計測単位選択へ（35 ページ）

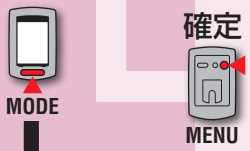
積算距離手入力より（34 ページ）

計測単位選択

速度単位（Km/h または m/h）を選択します。



km/h ↔ m/h



時計設定へ（29 ページ）

動作が不安定な場合

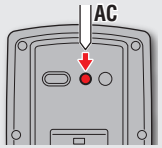
コンピュータに異常な表示が見られる場合は、動作を安定させるため、リスタート操作を行ってください。

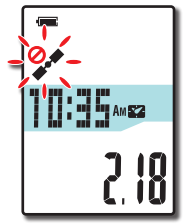
※ リスタート操作を行うと、計測途中の記録は消去されます。

※ 計測途中の場合は、リスタート操作の前にリセット操作を行いトリップデータを生成することをお勧めします。

リスタート操作

コンピュータ裏面の **AC** ボタンを押します。
画面が 2 秒全点灯して、GPS サーチ画面に切替ります。





GPS サーチ画面

保持されるデータ・消去されるデータ

リスタート操作で保持・消去されるデータは以下の通りです。

保持されるデータ	消去されるデータ
計測単位	計測途中のデータ（走行時間、走行距離、走行距離 2、平均速度、最高速度、GPS ルート情報）
時計設定（タイムゾーン・直前のタイムゾーン・サマータイム・表示方法）	
ナイトタイム設定（開始時間・終了時間）	
記録間隔	
積算距離値（※ 1）	
リセット操作で生成されたトリップデータ	

※ 1 計測後のリセット操作前にリスタート操作を行うと、その距離数は積算距離値に加算されません。

トラブルシューティング

以下の場合は故障ではありません。
CATEYE Atlas™（Web）の「Q&A」（http://www.cateyeatlas.com/qa/）と合わせてご覧ください。

コンピュータに関するトラブル

トラブル	チェック項目	対処方法
電源をオンにすると（バッテリーアイコン）が点滅した後、無表示になる	—	バッテリー残量がありません。「充電方法」（7 ページ）の手順に従ってコンピュータを充電してください。
走行中に電源がオフになる	—	GPS 信号やスピード信号が受信できないまま 10 分経過すると自動的に電源がオフになります。（オートパワーオフ）
⏻ ボタンを 2 秒間押し続けても全く表示が出ない。	コンピュータのバッテリーが消耗していませんか？	「充電方法」（7 ページ）の手順に従ってコンピュータを充電してください。
異常な表示が出る。	—	「動作が不安定な場合」（35 ページ）の手順に従ってください。
計測ができない（S または C が点滅しない）	ANT+ スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーを使用している場合	
	ご使用のスピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーとペアリングを行いましたか？	ペアリング（32 ページ）を行ってください。
	スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーの取付条件を満たしていますか？	センサーに付属の取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。
	スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
計測ができない（画面の S が点滅せず、 が点滅する）	ANT+ スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーを使用していない場合	
	電源をオンにした直後ではありませんか？	GPS 信号を受信してから位置情報を取得するまで約 2 ～ 3 分かかることがあります。
	GPS 信号の受信に適さない場所や天候ではありませんか？	以下のような場所や環境では、GPS 信号を受信できず計測が中断したり、適正な計測値が表示されない場合があります。 • トンネルの中、地下、建物内、高層ビルの間、高架の下、アーケード内など • 悪天候（雪や雨など ） • 高圧電線や携帯電話の中継局の近く • コンピュータの画面が上空を向いていない
	コンピュータの画面（アンテナ部）が上空を向くように取付けられていますか？	GPS 信号を受信しやすくするため、コンピュータの画面が上空を向くように取付けてください。
計測データの値がおかしい。	—	スピードセンサーまたはスピード／ケイデンス（ISC）センサーを使用しない場合は GPS により計測を行うため、受信状況により、計測が中断したり実際と異なる値を示す場合があります。

トラブル	チェック項目	対処方法
MEM FULL が点滅する	最大記録時間またはトリップ数が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは、「記録間隔と容量制限」（23 ページ）をご覧ください。	コンピュータをPCに接続して、トリップデータをアップロードしてください。（20 ページ） PC に転送されたトリップデータがコンピュータから消去され、新しい記録が可能になります。
	1 トリップの最大時間が上限を超えていませんか？ ※ 詳しくは、「記録間隔と容量制限」（23 ページ）をご覧ください。	リセット操作（16 ページ）して一旦トリップを終了してください。 その後は別トリップとして記録することができます。
指定時刻になってもバックライトが点灯しない。	開始時刻と終了時刻を同じ時刻に設定していませんか？	開始・終了時刻を同じ時刻にするとバックライトは点灯しません。 開始・終了時刻の設定は「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。
明るい時間帯にバックライトが点灯する。	ナイトタイムの開始時刻は正しく設定されていますか？	開始時刻の設定は「コンピュータの設定変更」（27 ページ）をご覧ください。

ANT+ センサーに関するトラブル

オプションまたは市販の ANT+ センサーをご使用の場合にご確認ください。

※ ANT+ センサーの使用には、コンピュータとのペアリングが必須です。詳しくは「ペアリング」（32 ページ）をご覧ください。

※ 市販の ANT+ センサーをご使用の場合は、センサーに付属の取扱説明書と合わせてご覧ください。

トラブル	チェック項目	対処方法
心拍数が計測できない （H が点滅しない）	心拍センサーとペアリングを行いましたか？	ペアリング（32 ページ）を行ってください。
	電極パッドが身体から離れていませんか？	電極パッドが身体に密着するように装着してください。
	肌が乾燥していませんか？	電極パッドを少し湿らせます。
	電極パッドが長期間の使用で劣化損傷していませんか？	新しい物と交換してください。
	心拍センサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。
心拍数が 0 になったり、計測されたりする	心拍センサーは正しく装着されていますか？	心拍センサーの取扱説明書をご覧になり、正しい位置に装着してください。
パワーが計測できない （P が点滅しない）	ご使用のパワーセンサーとペアリングを行いましたか？	ペアリング（32 ページ）を行ってください。
	パワーセンサーの取付条件を満たしていますか？	パワーセンサーの取扱説明書をご覧になり、正しく取付けてください。
	パワーセンサーの電池が消耗していませんか？	新しい電池と交換してください。

トラブル	チェック項目	対処方法
パワー表示が正確でない	—	パワーセンサーのキャリブレーション（17 ページ）を実行してください。 ※ パワーセンサーは使い続け無負荷状態に若干のずれが生じてきます。定期的にキャリブレーションを実行して、補正を行ってください。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

バッテリーの交換について

使用時間が著しく短い場合はバッテリーの寿命です。
バッテリーの交換は弊社カスタマーサービスへご依頼ください。

⚠注意 コンピュータは精密機器のため、絶対に分解しないでください。

コンピュータの廃棄方法

プラスドライバーでコンピュータ裏面のネジ（6 本）を外し、内部の電池を取り出してから廃棄してください。

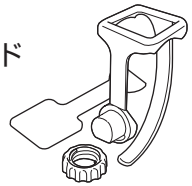
⚠注意

- リチウムイオン充電池は、リサイクルできます。寿命を終えた充電池は、充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
- 製品廃棄時以外は絶対に分解しないでください。
- 必ず、コンピュータの充電池を使い切ってください。
- 取出した充電池は乳幼児の手の届くところに置かないでください。万一飲込んだときは、すぐに医師にご相談ください。

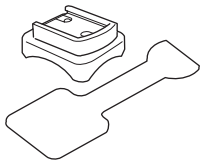
別売部品

標準部品

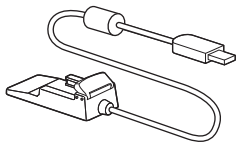
1600280N
ブラケットバンド



1602193
ブラケット

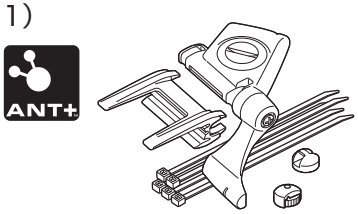


1603790
クレードル
（IF-CC01）

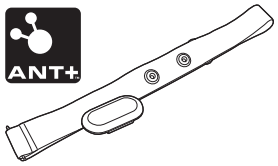


オプション部品

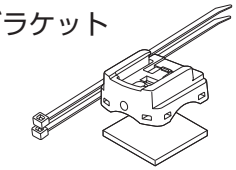
1603750
スピードセンサー（スピード / ケイデンス）
（ISC-11）



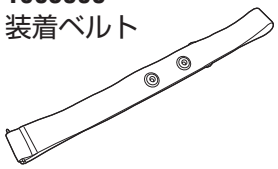
1603760
心拍センサー
（HR-11）



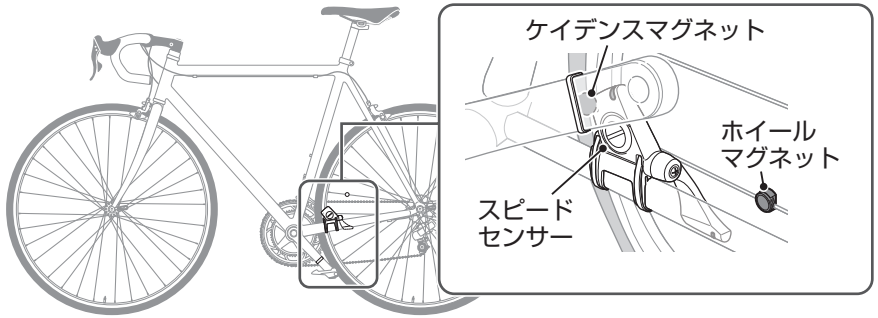
1602980
ナイロンタイブラケット



1603595
装着ベルト



スピード／ケイデンスセンサー（ISC-11）の取付方法



ビデオを見る
（YouTube）

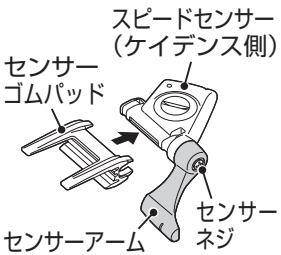
ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

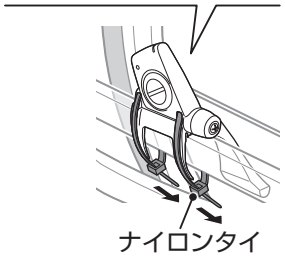
1 スピードセンサーを仮止めします

❶ プラスドライバーでスピードセンサーのセンサーネジをゆるめ、センサーアームが動くことを確認します。
センサーネジは完全に取外さないでください。

❷ スピードセンサーにセンサーゴムパッドを取付け、上図を参考に左チェーンステーに乗せて、ナイロンタイで仮止めします。

⚠注意
ここでは、ナイロンタイを完全に締付けないでください。ナイロンタイは、一旦締付けると引抜くことはできません。



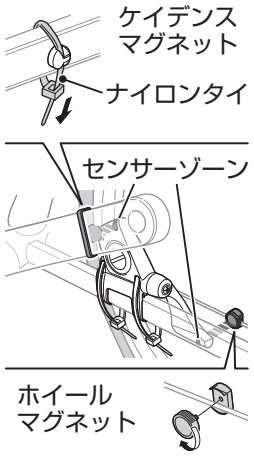


2 マグネットを仮止めします

❶ ケイデンス側のセンサーゾーンに対面するようにクランク内側にケイデンスマグネットをナイロンタイで仮止めします。

❷ センサーアームを回転させ、スピード側センサーゾーンに対面する位置のスポークにホイールマグネットを仮止めします。

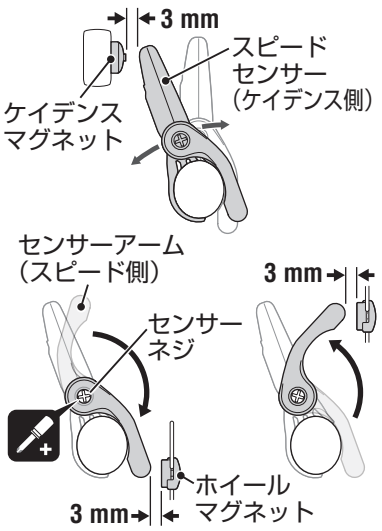
※ スピードセンサーが２つのマグネットとの位置関係（スピード／ケイデンスの両方）を確保できない場合は、スピードセンサーを前後方向に動かし、調整します。このときスピードセンサーの移動に合わせ、必ず各センサーゾーンにマグネットが対面するよう調整が必要です。



3 マグネットとの隙間を調節します

❶ ケイデンスマグネットとスピードセンサーのケイデンス側の隙間が約３ mm になるようにスピードセンサーを傾け、ナイロンタイでしっかりと固定します。

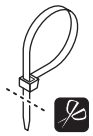
❷ ホイールマグネットとセンサーアーム（スピード側）の隙間が約 3mm になるようにセンサーアームを回転して調整し、センサーネジをしっかり締め付け固定します。



4 各部の固定

スピードセンサーのナイロンタイ、センサーネジ、マグネットをしっかりと締付け、緩みがないことを確認します。

※ 自転車にスチールシャフトのペダルを使用している場合、ケイデンスマグネットはペダルシャフトに磁力で固定できます。この場合はマグネットの粘着テープを除去してください。


余分なナイロンタイは
はさみでカットします。

心拍センサー（HR-11）の装着方法

心拍計測は胸部に心拍センサーを装着して行います。

⚠警告 ペースメーカーをご利用の方は、絶対にこの製品をお使いにならないでください。

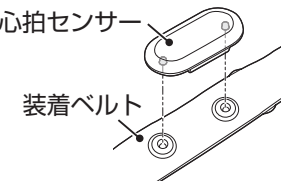
- 計測ミスをなくすため、電極パッドに水または心電計用の電解質クリームを塗ることをおすすめします。
- 皮膚の弱い方などは、薄いシャツの上から電極パッドを水で濡らして装着できます。
- 胸毛が計測を妨害することもあります。

ビデオを見る
（YouTube）

ボタンをクリックするとブラウザが開き、ムービーが再生されます。

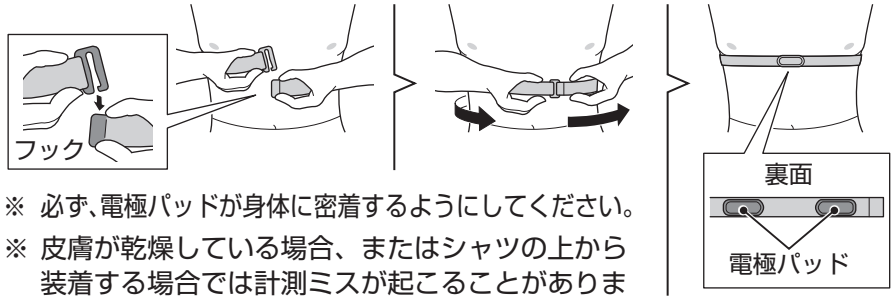
1 装着ベルトに心拍センサーを取付けます

「パチン」と音がするまで押込んでください。



2 装着ベルトのフックをもう一方のベルト先端にひっかけて装着します

装着ベルトを体に巻付け、胸回り（アンダーバスト）に合わせて装着ベルトの長さを調節します。きつく締めすぎると計測中､苦痛を感じることがあります。



※ 必ず､電極パッドが身体に密着するようにしてください。

※ 皮膚が乾燥している場合、またはシャツの上から装着する場合では計測ミスが起こることがあります。このような場合は、電極パッドを水で濡らしてご利用ください。

製品仕様

計測機能	上段表示	走行速度	0.0（3.0）～ 105.9 km/h [0.0（2.0）～ 65.9 m/h]
	中段表示	時刻	0:00 ～ 23:59 [AM1:00 ～ PM12:59] （12/24h 表示切替可能） （GPS による自動照合）
		パワー（*1）	0 ～ 9999 watt
	下段表示	走行時間	0:00'00" ～ 9:59'59"
		心拍数（*1）	0 (30) ～ 199 bpm
		ケイデンス（*1）	0 (20) ～ 199 rpm
		走行距離	0.00 ～ 999.99 km [mile]
		走行距離 2	0.00 ～ 999.99 / 1000.0 ～ 9999.9 km [mile]
		平均速度	0.0 ～ 105.9 km/h [0.0 ～ 65.9 m/h]
		最高速度	0.0（3.0）～ 105.9 km/h [0.0（2.0）～ 65.9 m/h]
		積算距離	0.0 ～ 9999.9 / 10000 ～ 99999 km[mile]
		日付	1.1 ～ 12.31 （GPS による自動照合）
バッテリー	リチウムイオン充電池		
充電及び通信	USB クレードル		
標準充電時間	約 5 時間（USB2.0）		
標準使用時間	約 10 時間		
繰返し充放電回数	標準 300 回（定格容量の 70%の容量低下まで）		
制御方式	マイクロコンピュータ（水晶発振器）		
表示方式	液晶表示（EL バックライト：ナイトタイム常時点灯）		
センサー信号通信方式	ANT+		
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃ （動作保証範囲 : 範囲外は表示の視認性が悪化します）		
寸法・重量	69 x 45 x 22.4 mm / 60 g		

*1：計測にはオプションまたは市販の ANT+ センサーが必要です。
※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年間保証：コンピュータのみ（バッテリーの消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させて頂きます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

ホームページ上でこの製品のユーザー登録が行えます。ご登録いただくと、ご希望によりニュースレターを配信させていただきます。
http://www.cateye.com/jp/support/regist/

［宛先］株式会社 キャットアイ カスタマーサービス
〒 546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号
TEL:　(06)6719-6863 ダイヤルイン
FAX:　(06)6719-6033
ホームページ　http://www.cateye.com
E メール　　support@cateye.co.jp